

インドネシアとフィリピンの河川流域を対象としたd4PDFダウンスケーリング

牛山朋來、Ralph Allen Acierto
(土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM))
令和6年気候変動適応の研究会
2024年12月17日



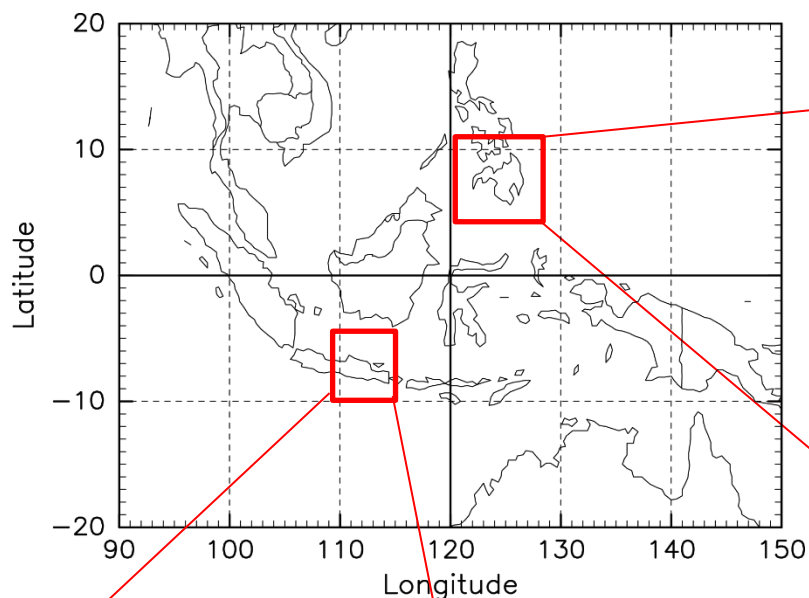
はじめに

- 土木研究所ICHARMでは、創生、統合、先端プログラムにおいて、東南アジアの洪水リスクや気候変動影響について調査を行い、その結果を国際洪水イニシアティブ（IFI）の枠組みなどを通じて対象国に技術供与を行ってきた。
- これまで：MRI-AGCM3.2のダウンスケーリング、CMIP5の統計的ダウンスケーリングを用いてきた。
- 気候変動の不確実性を含めた、より強固なデータを用いるため、d4PDFのダウンスケーリングを行った。

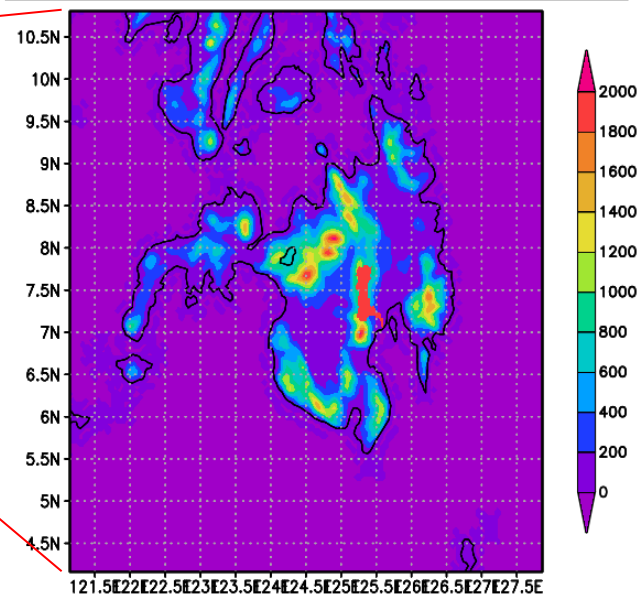
手法

- d4PDF Global dataから、atm_snp_6hr_1.25deg (1000-100hPa), atm_24levs_snp_12hr_2.5deg (70, 50hPa), sfc_snp_6hr_2byteから3次元およびSurfaceの境界条件を作成。
- SSTは、sfc_avr_monのTGEFを使用。
- 過去HPB: m001～m006 1979-2008の30年 $\times 6 = 180$ 年間
- 2°C上昇HFB_2K: CC, GF, HA, MI, MP, MRの各m101, 2045-2074 = 180年間
- 4°C上昇HFB_4K: CC, GF, HA, MI, MP, MRの各m101, 2075-2004 = 180年間
- モデルはWRF ver.3.7.1
- 計算は地球シミュレータを用いた。

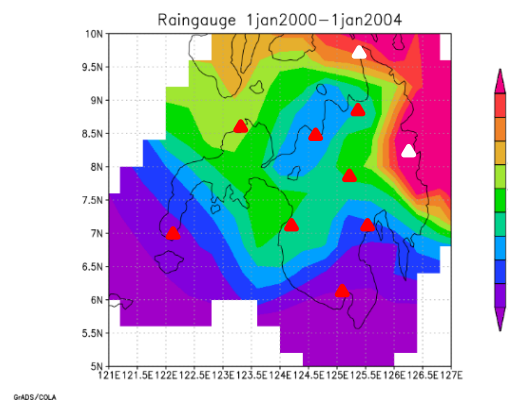
Target River basins



Davao River basin/Philippines

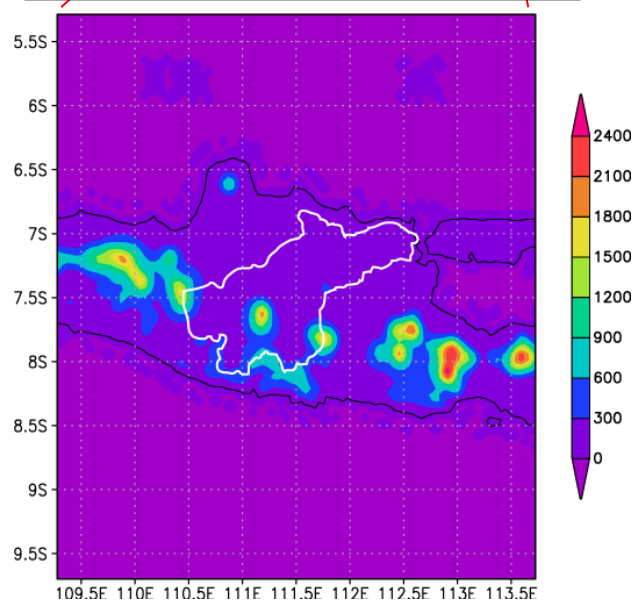


1,623 km^2 , 170 km
1 raingauge in the basin

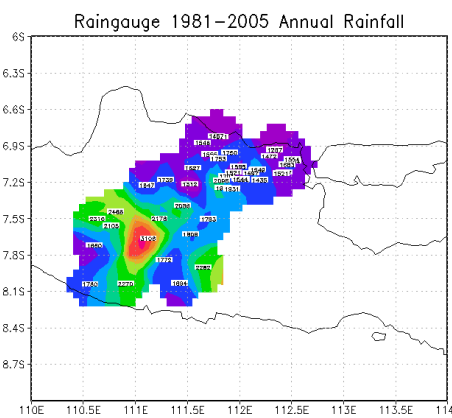


WRF-ARW ver.3.7.1
Grid: 150x150x40 **dx=5km**
CPS : None
Cloud physics : WDM6
Land Surface: Thermal diffusion
PBL: MYNN2.5

Solo River basin/Indonesia



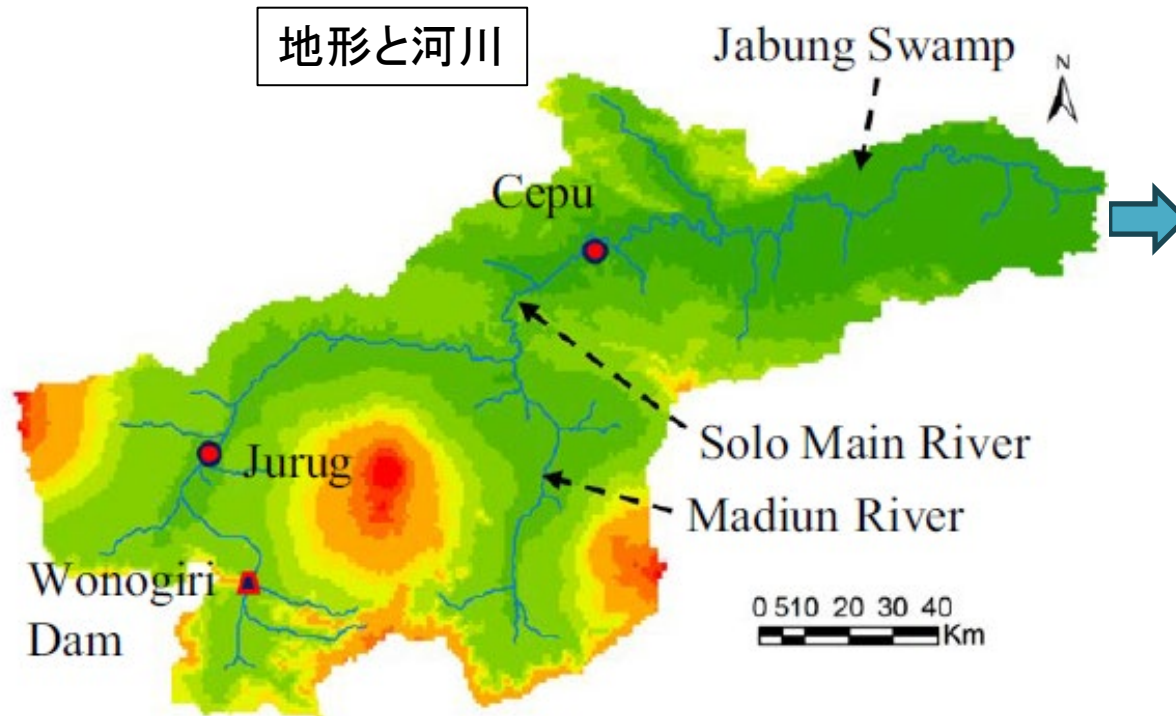
16,100 km^2 , 600 km
44 raingauges in the basin



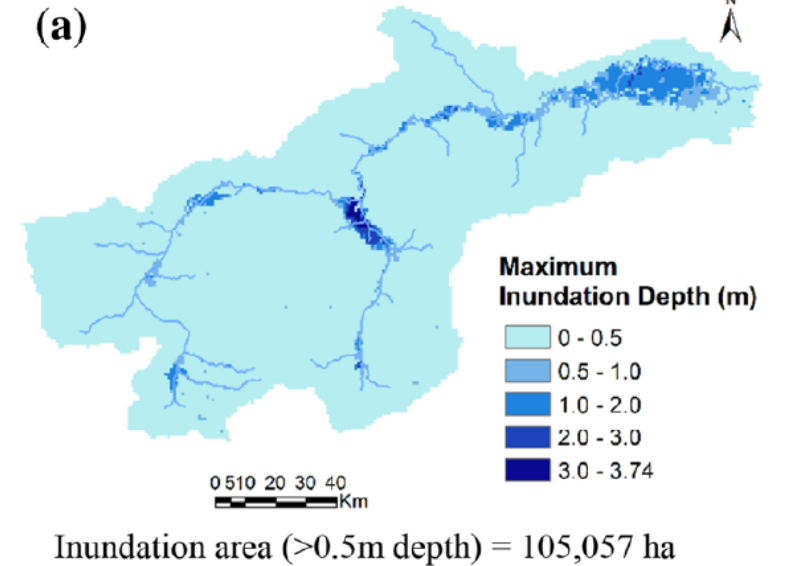
WRF-ARW ver.3.7.1
Grid: 100x100x40 **dx=5km**
CPS : None
Cloud physics : WDM6
Land Surface: Thermal diffusion
PBL: MYNN2.5

インドネシア ソロ川流域

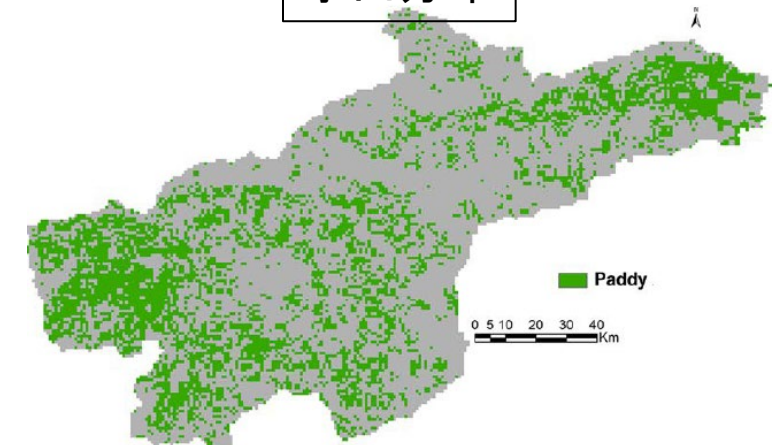
- ジャワ島最長の河川
- インドネシアの重要な穀倉地帯
- 上流にWonogiri Damという灌漑用ダム



2007年の洪水事例の浸水深算出値



水田分布

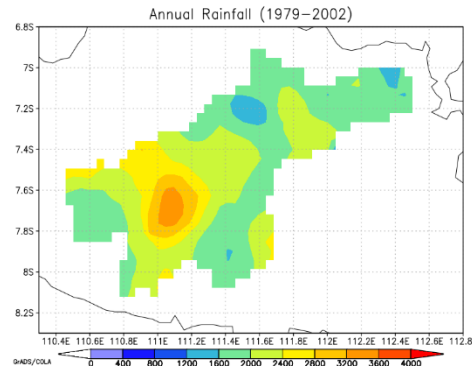


Shrestha et al.2019

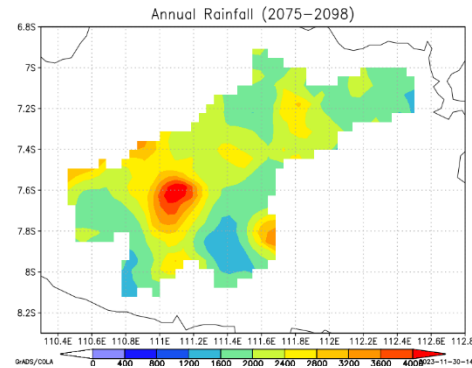
MRI-AGCM3.2H downscaling

Annual rainfall

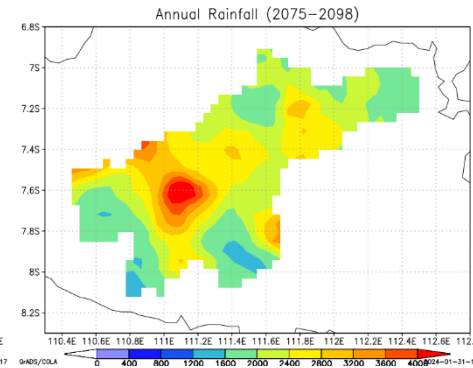
Past climate



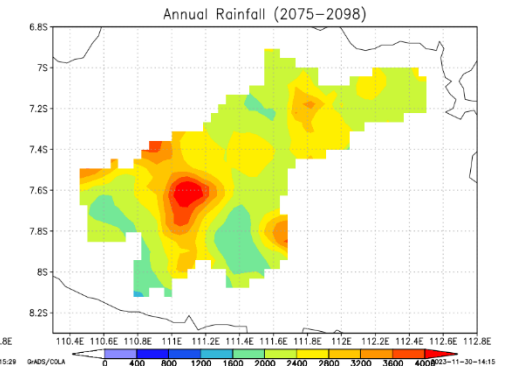
Future climate
RCP2.6



Future climate
RCP4.5

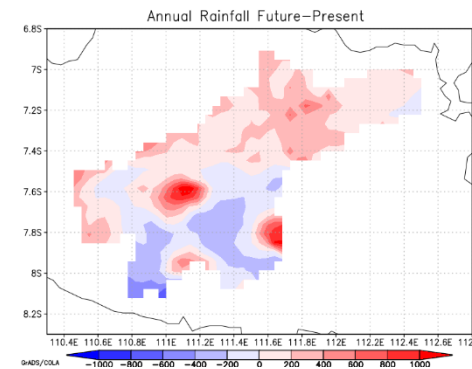


Future climate
RCP8.5

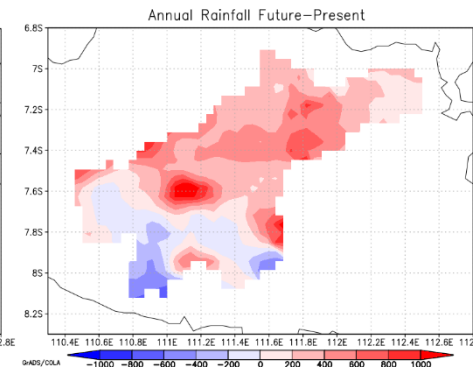


(Future)-(Past)

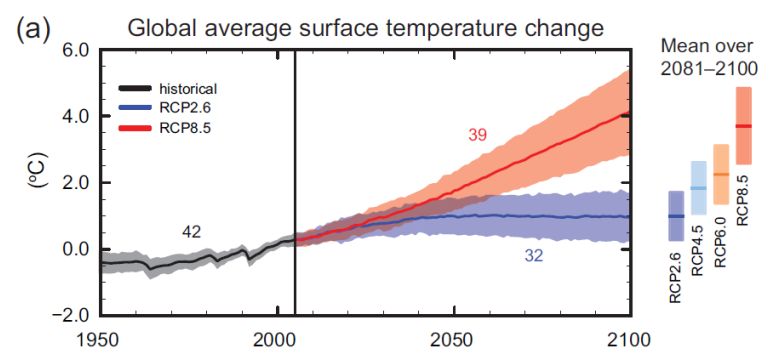
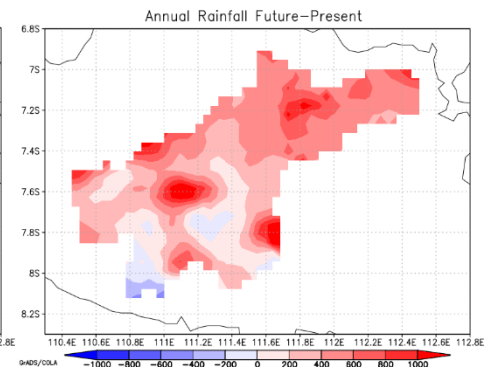
RCP2.6-Past



RCP4.5-Past



RCP8.5-Past



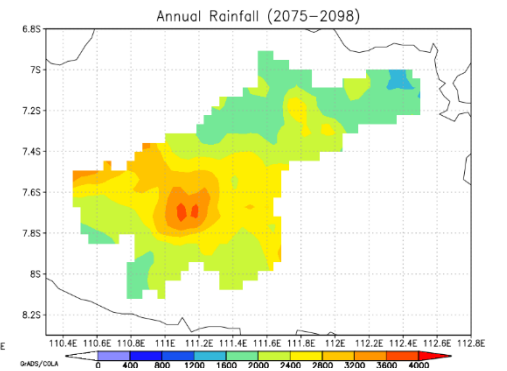
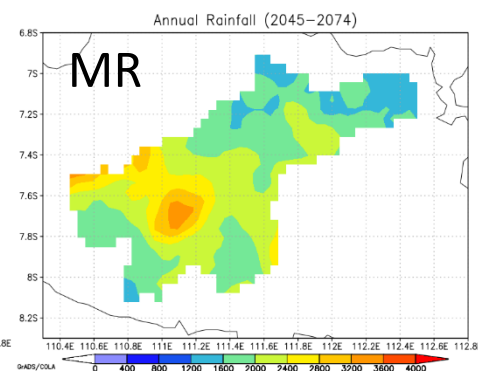
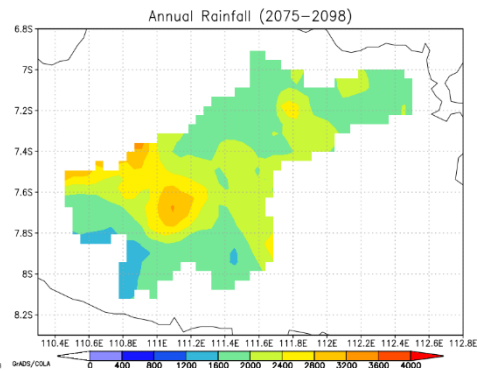
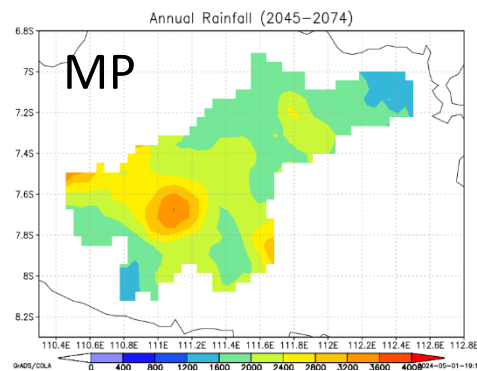
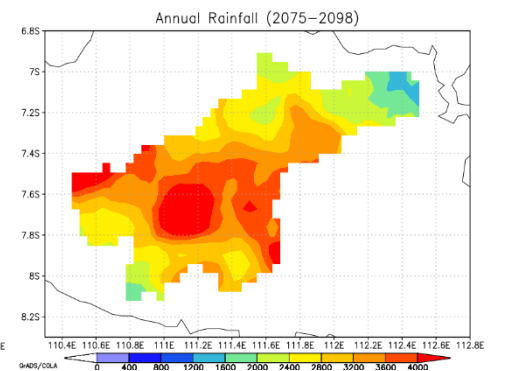
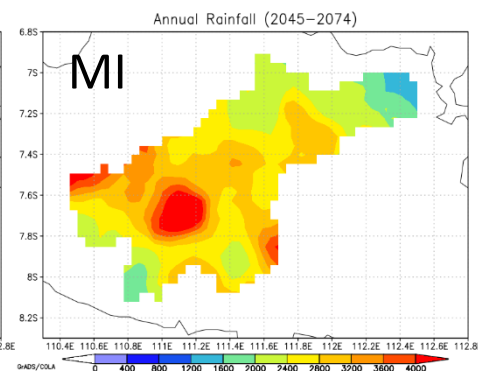
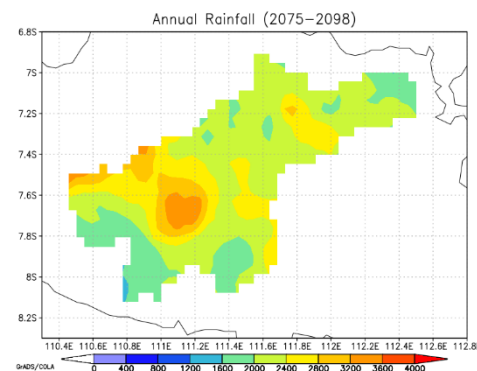
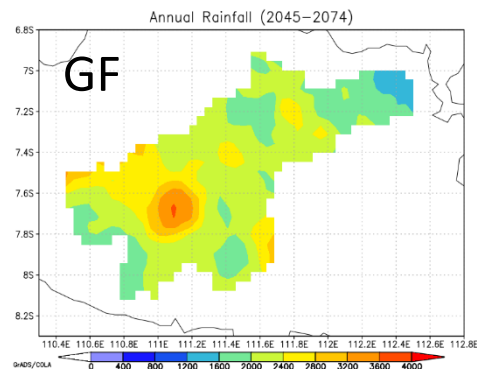
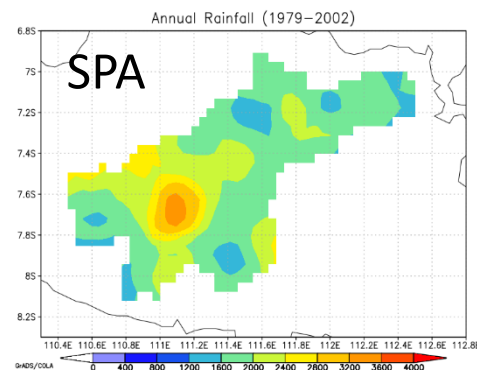
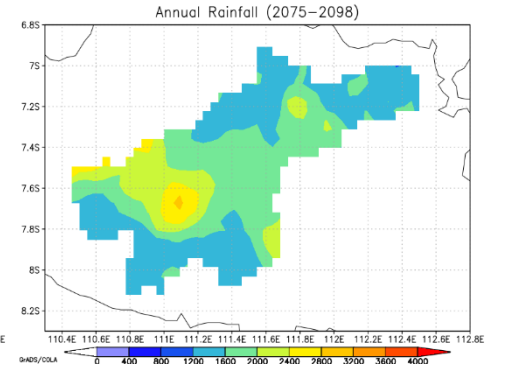
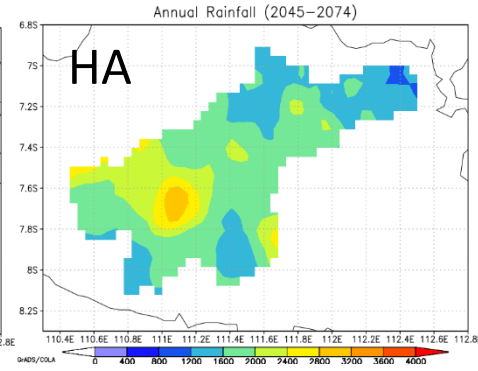
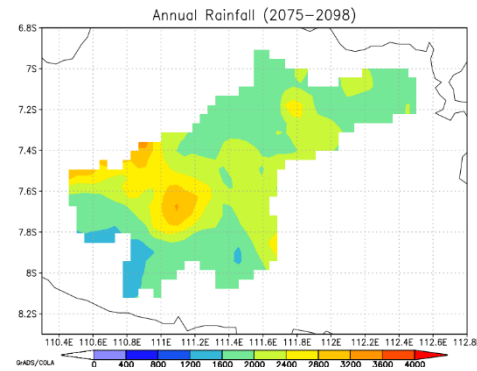
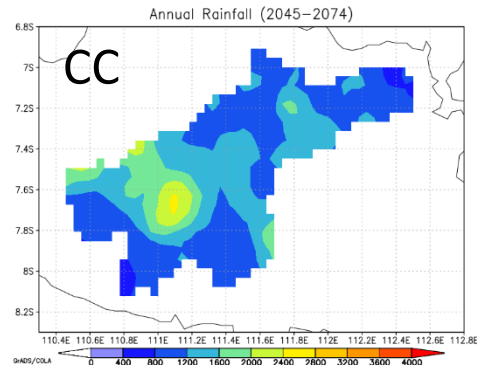
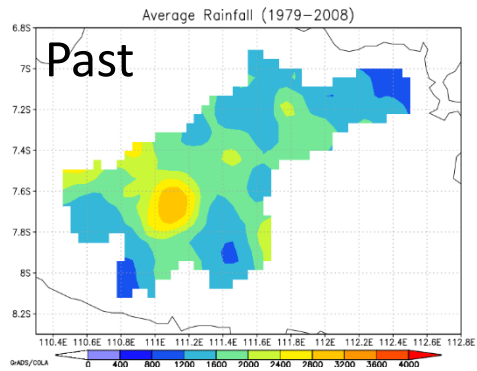
Annual Rainfall (d4PDF downscaling)

+2K

+4K

+2K

+4K



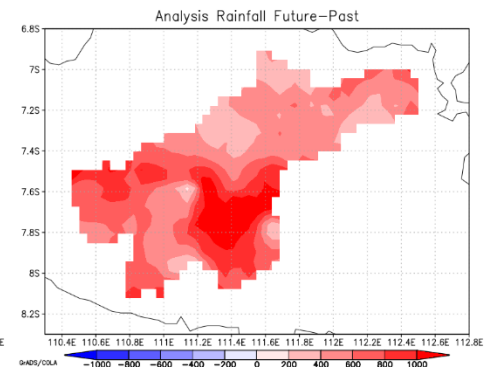
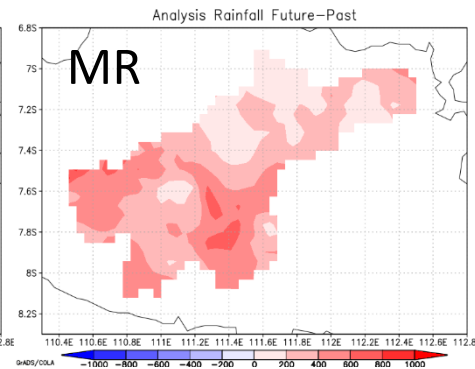
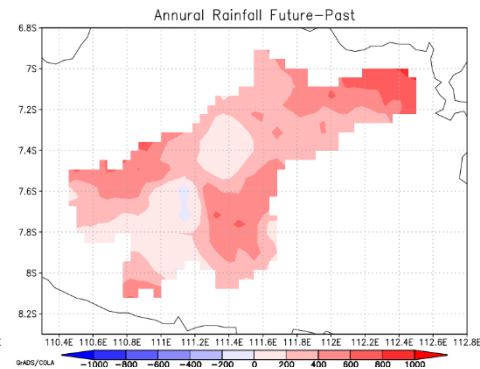
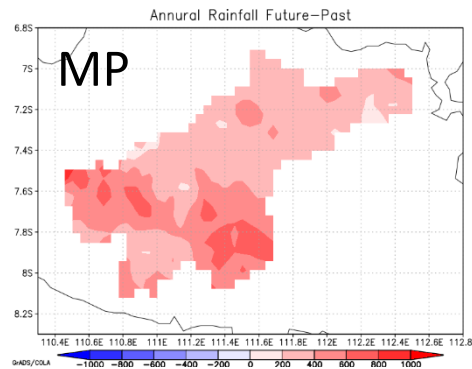
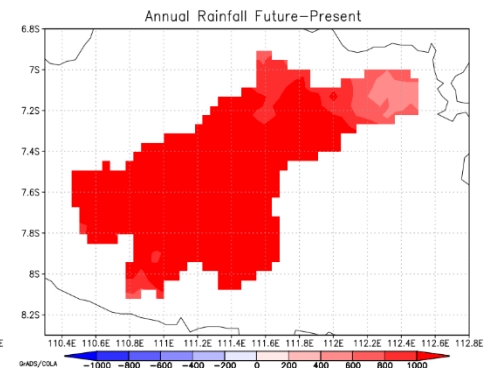
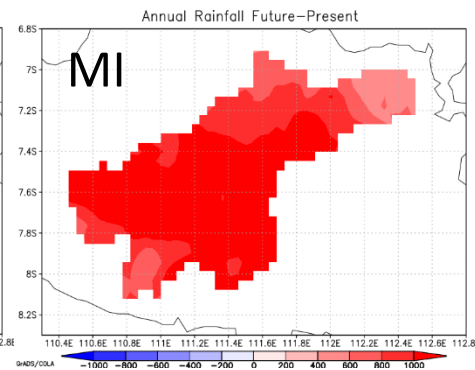
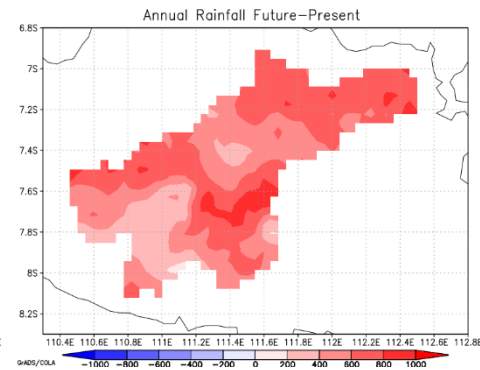
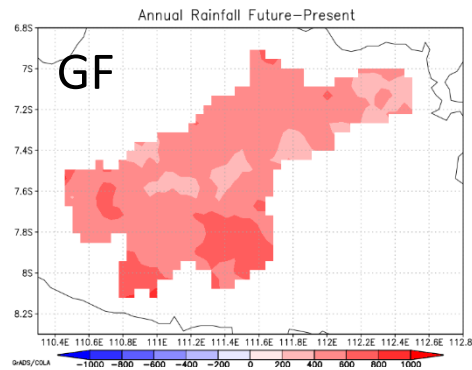
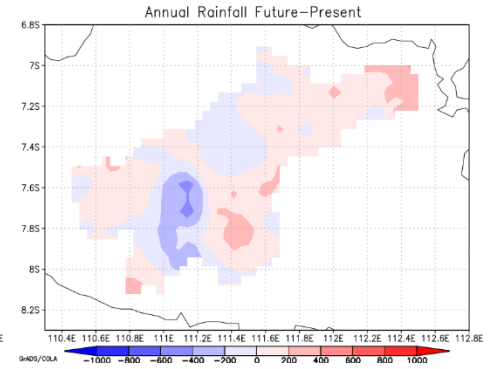
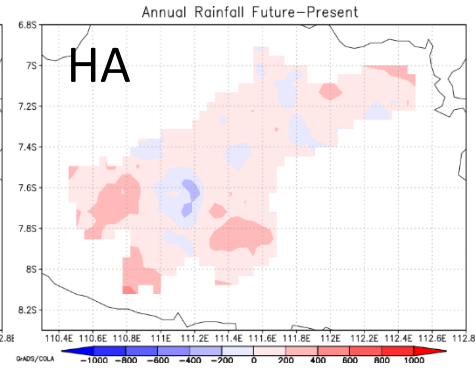
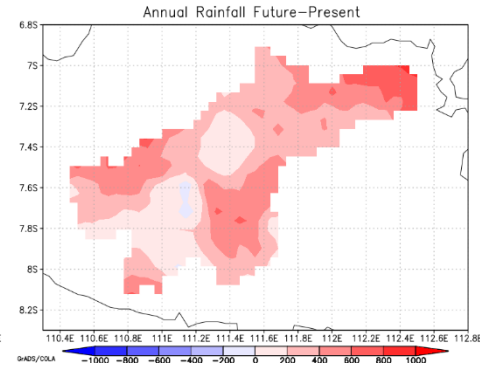
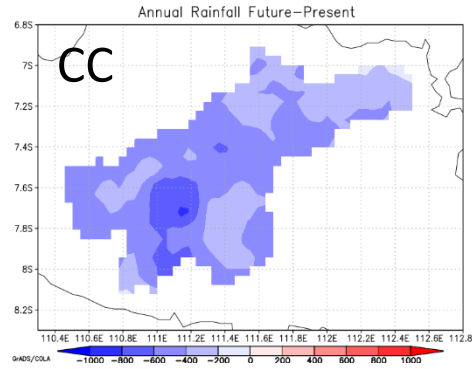
Annual rainfall difference (d4PDF downscaling)

+2K

+4K

+2K

+4K



赤が増加

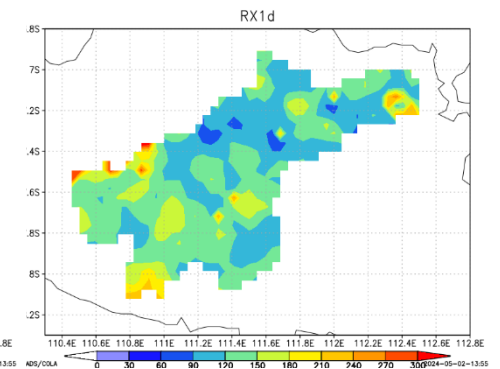
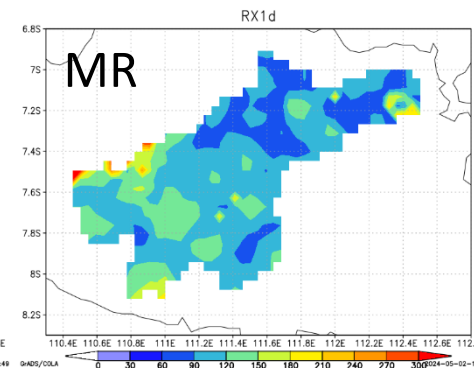
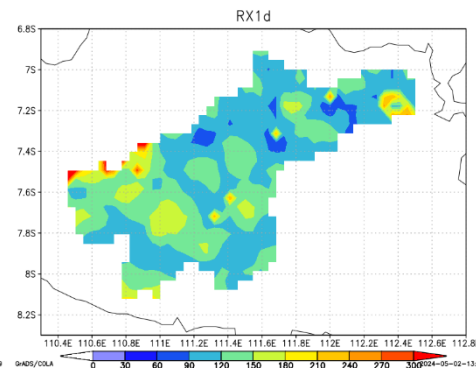
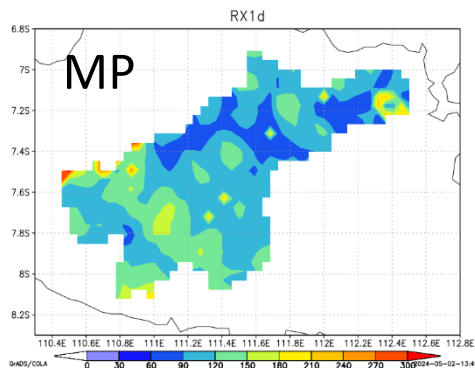
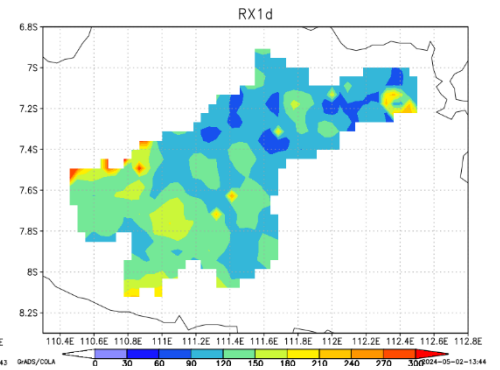
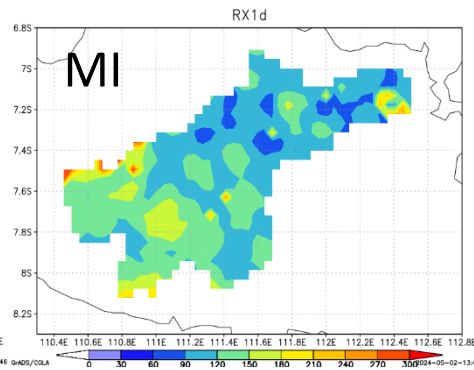
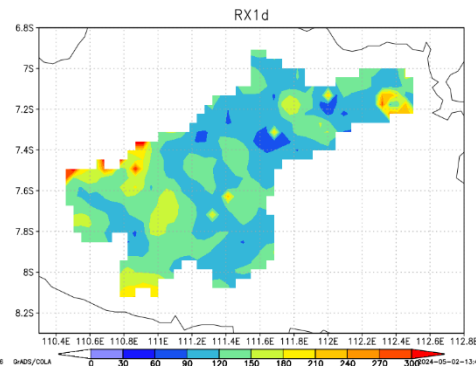
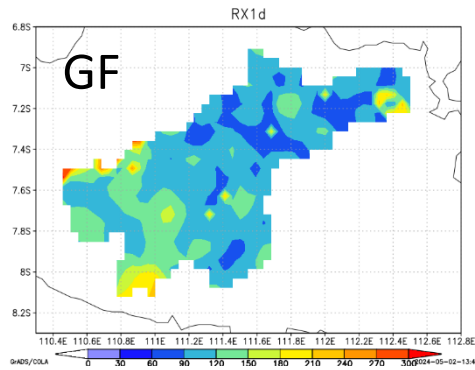
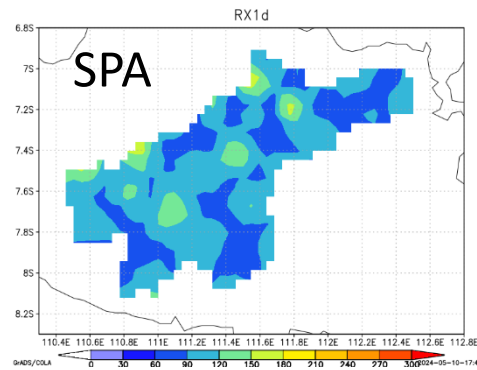
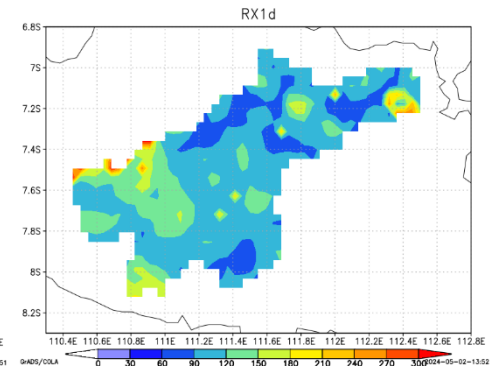
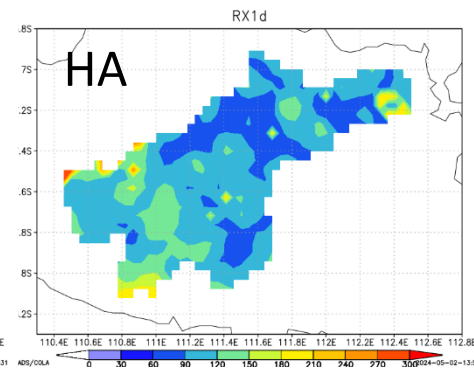
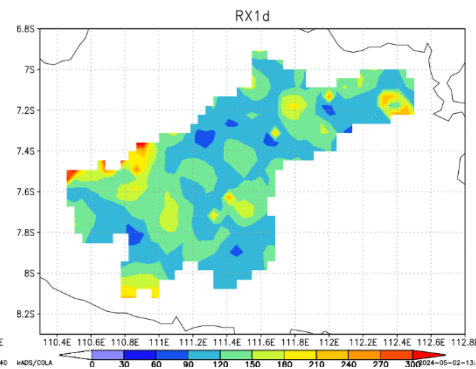
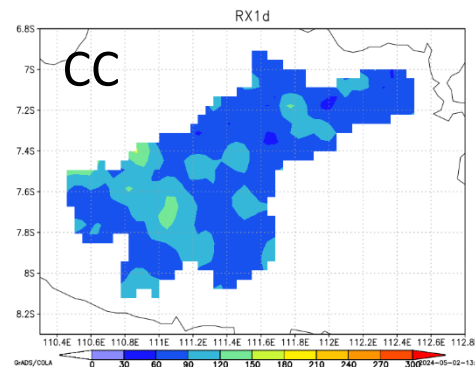
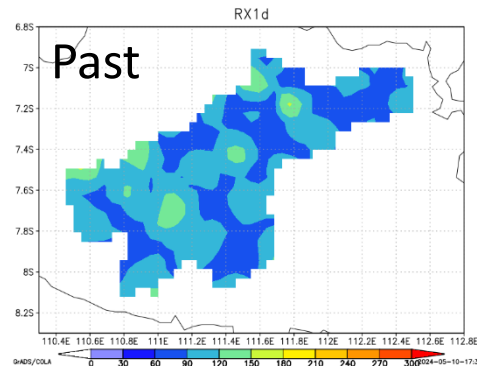
RX1d 30years average (d4PDF downscaling)

+2K

+4K

+2K

+4K



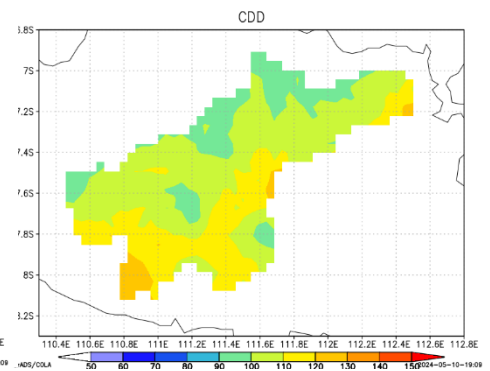
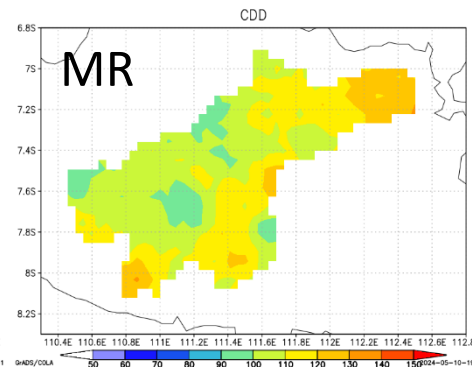
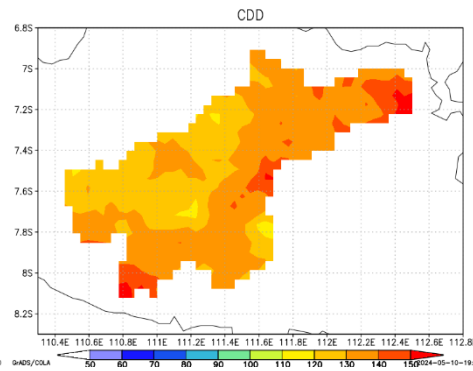
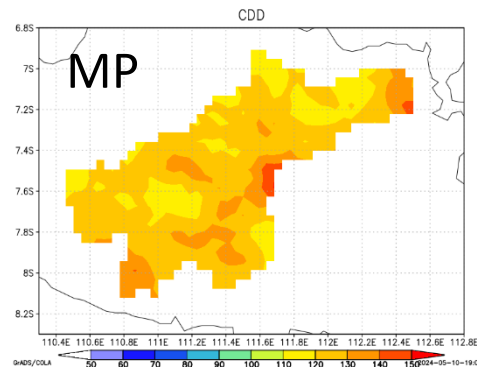
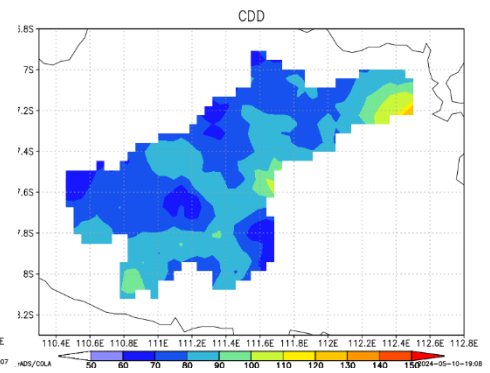
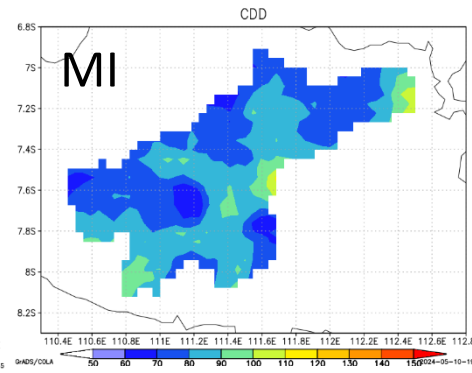
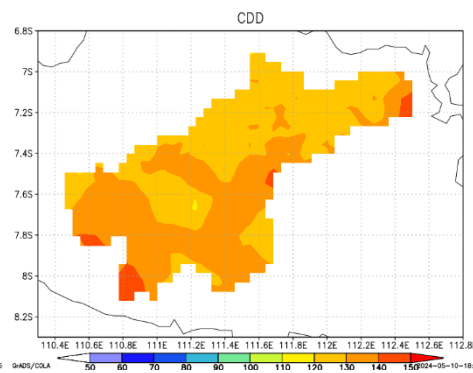
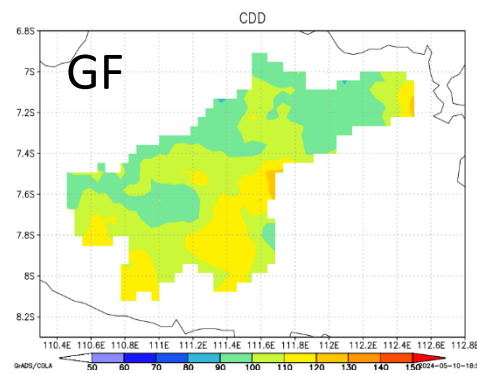
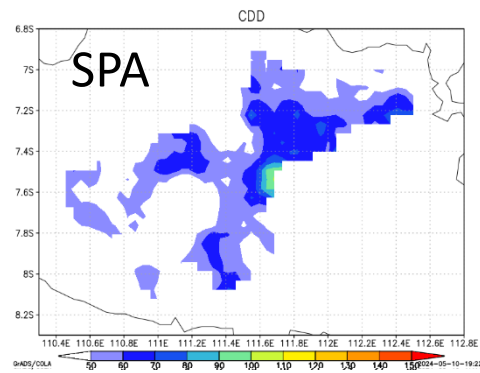
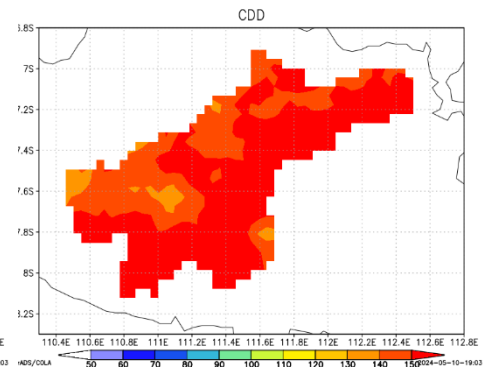
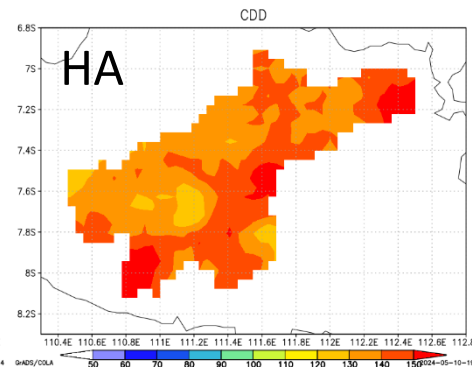
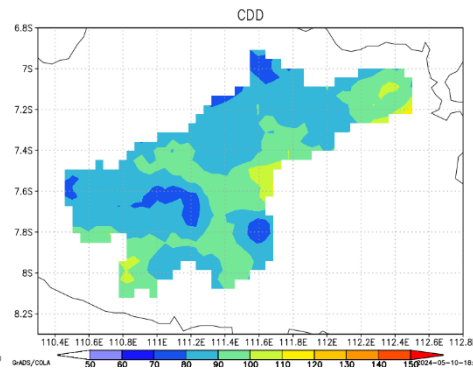
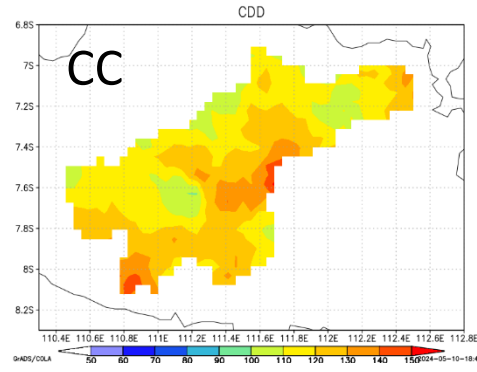
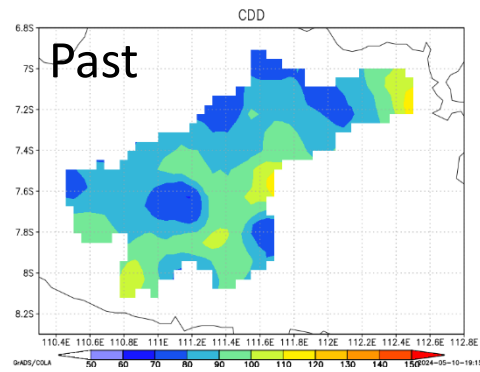
Consecutive Dry Days (CDD) 30years average (d4PDF downscaling)

+2K

+4K

+2K

+4K



赤が乾燥

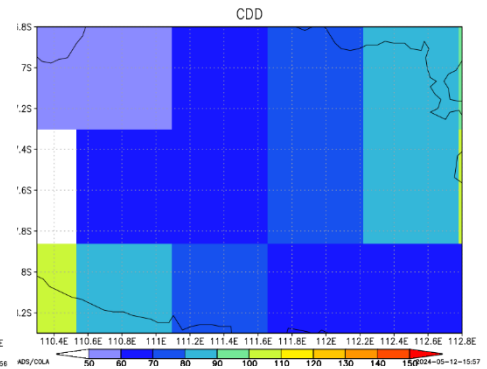
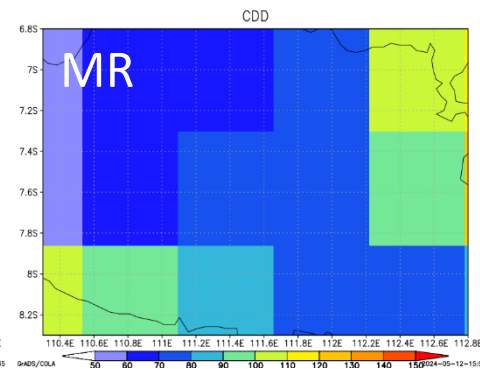
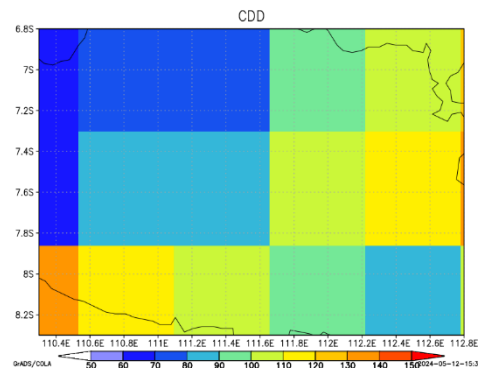
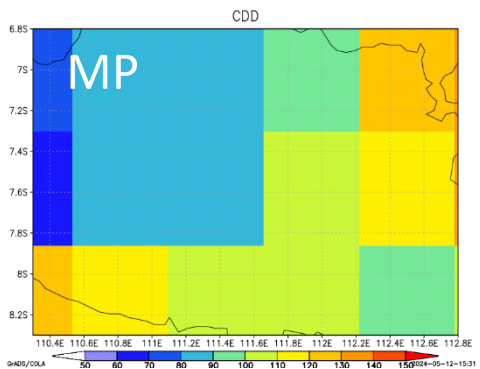
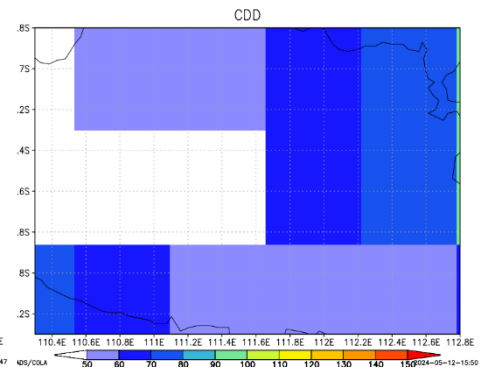
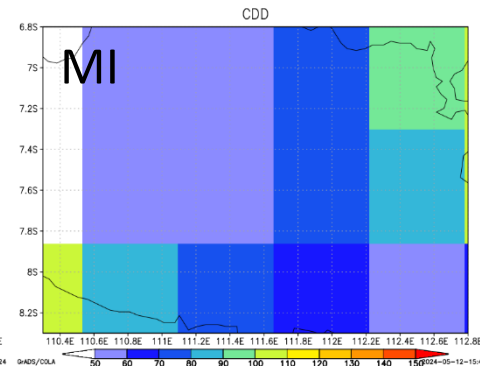
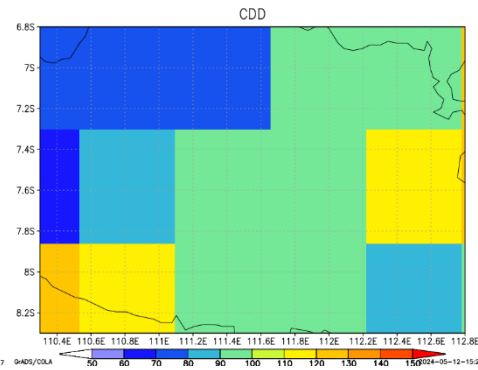
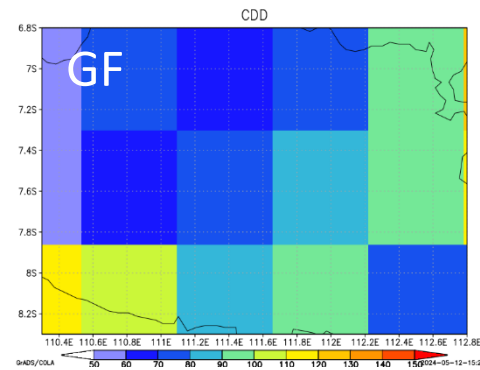
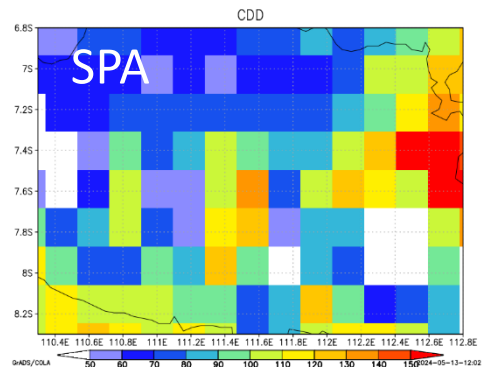
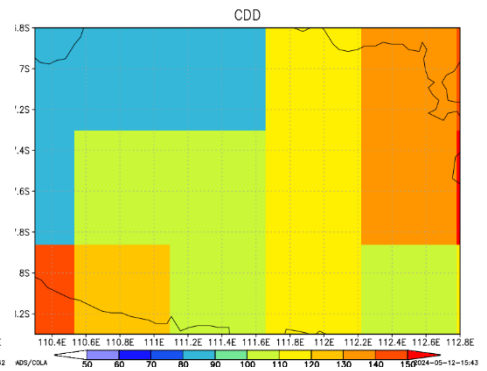
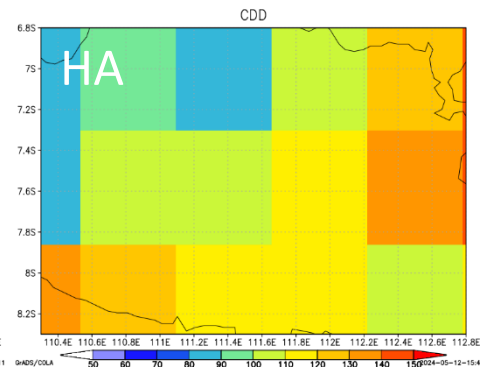
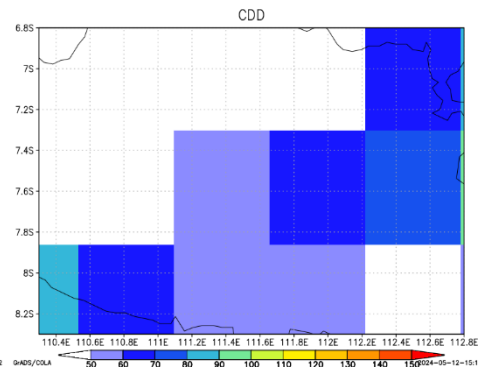
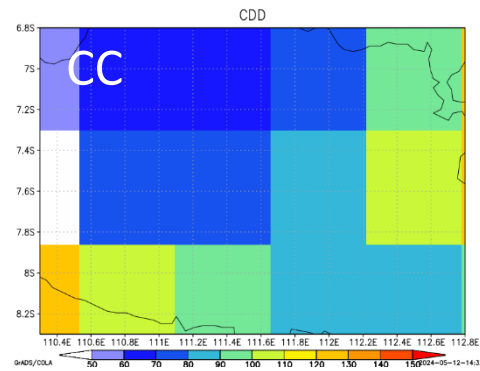
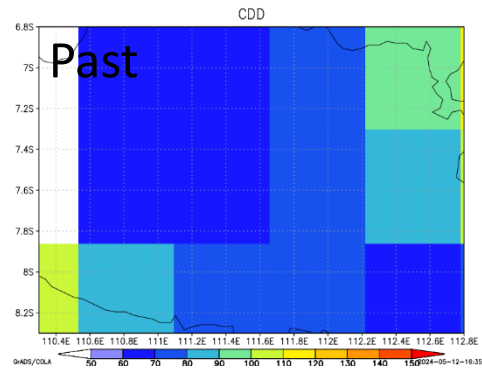
CDD 30years average (d4PDF GCM)

+2K

+4K

+2K

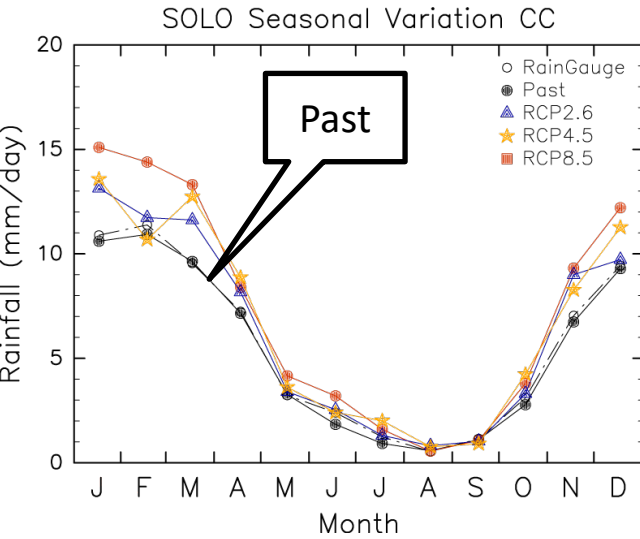
+4K



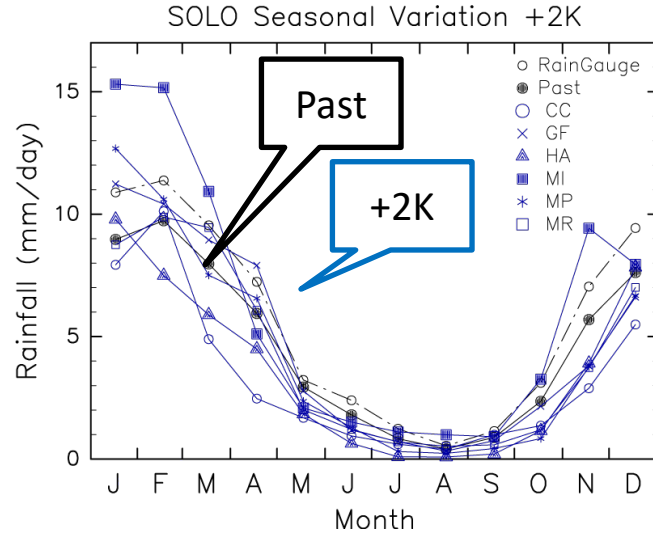
赤が乾燥

Dynamic Downscaling d4PDF Solo

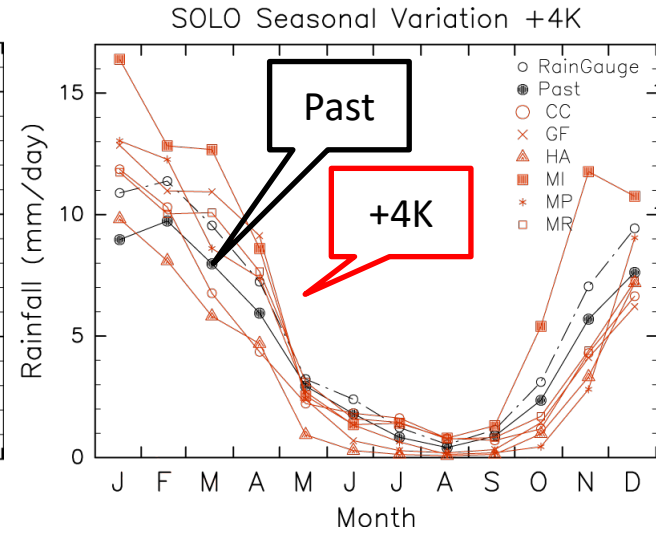
MRI-AGCM3.2H



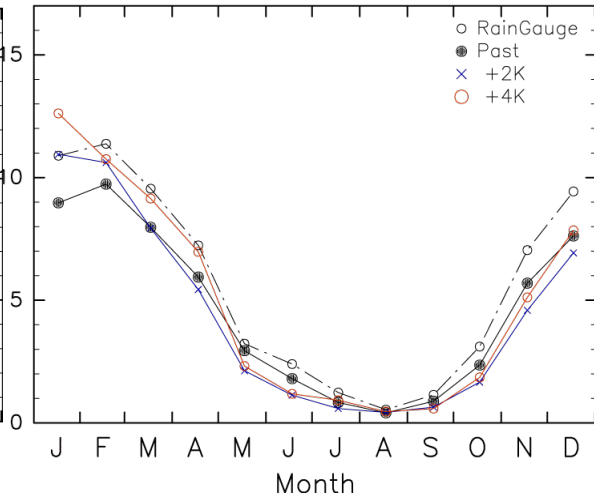
d2PDF CC,GF,HA,MI,MP,MR



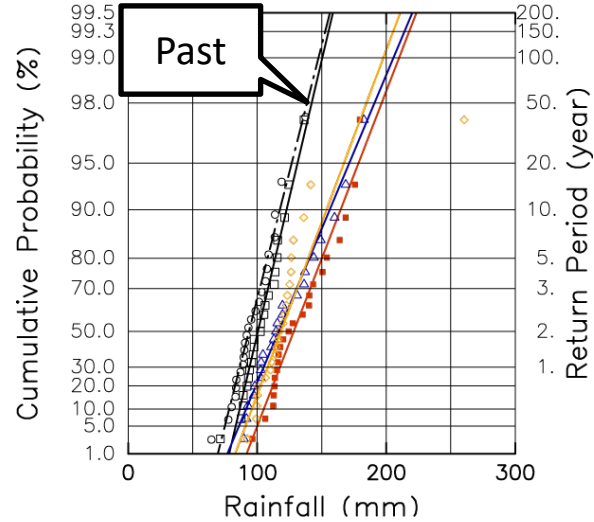
d4PDF CC,GF,HA,MI,MP,MR



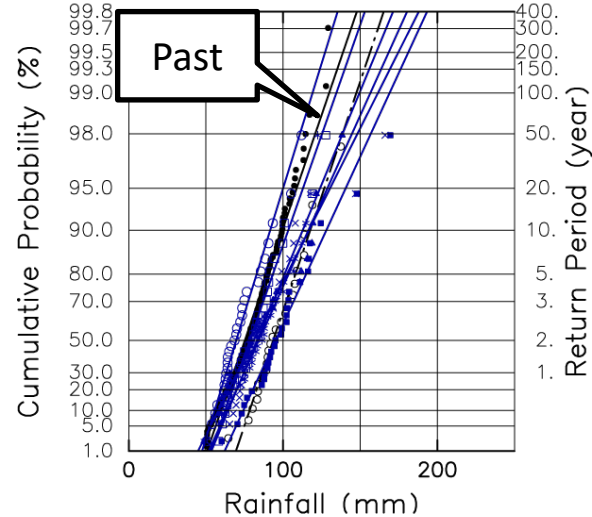
Solo Seasonal Variation



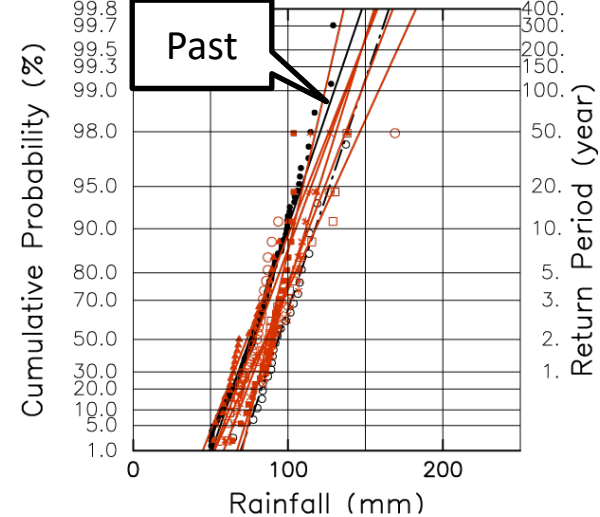
Solo River Basin (4days)



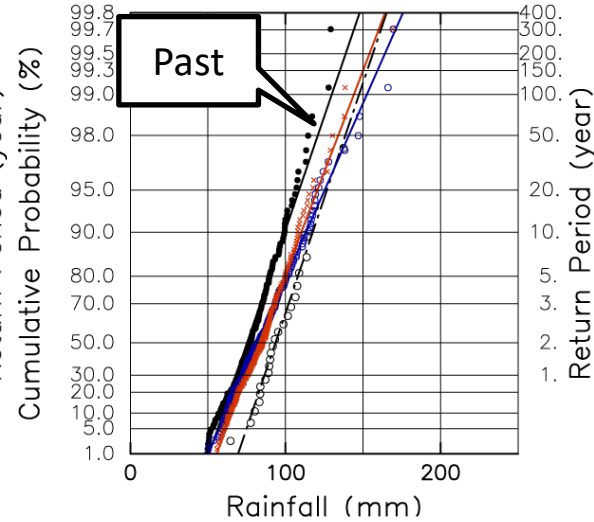
Solo River Basin (4days) 2K



Solo River Basin (4days) 4K

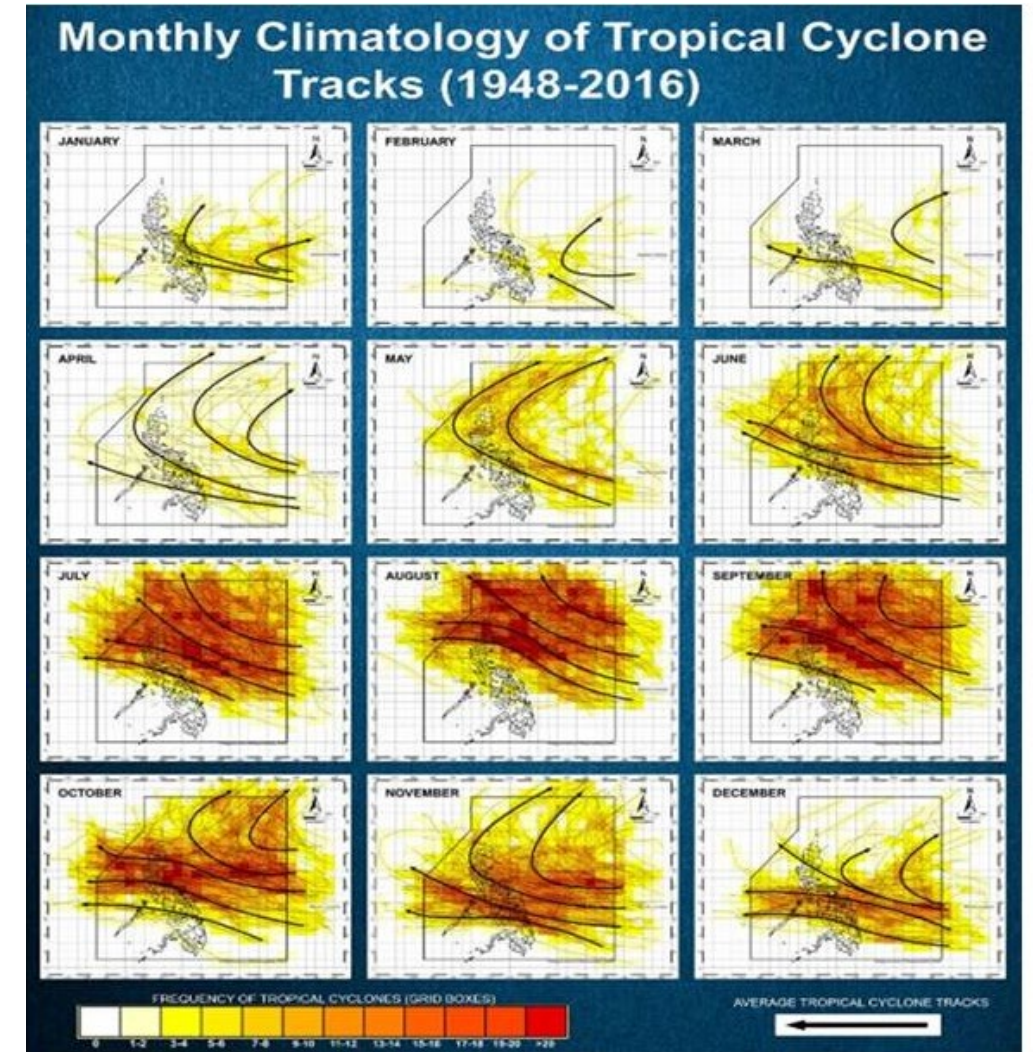


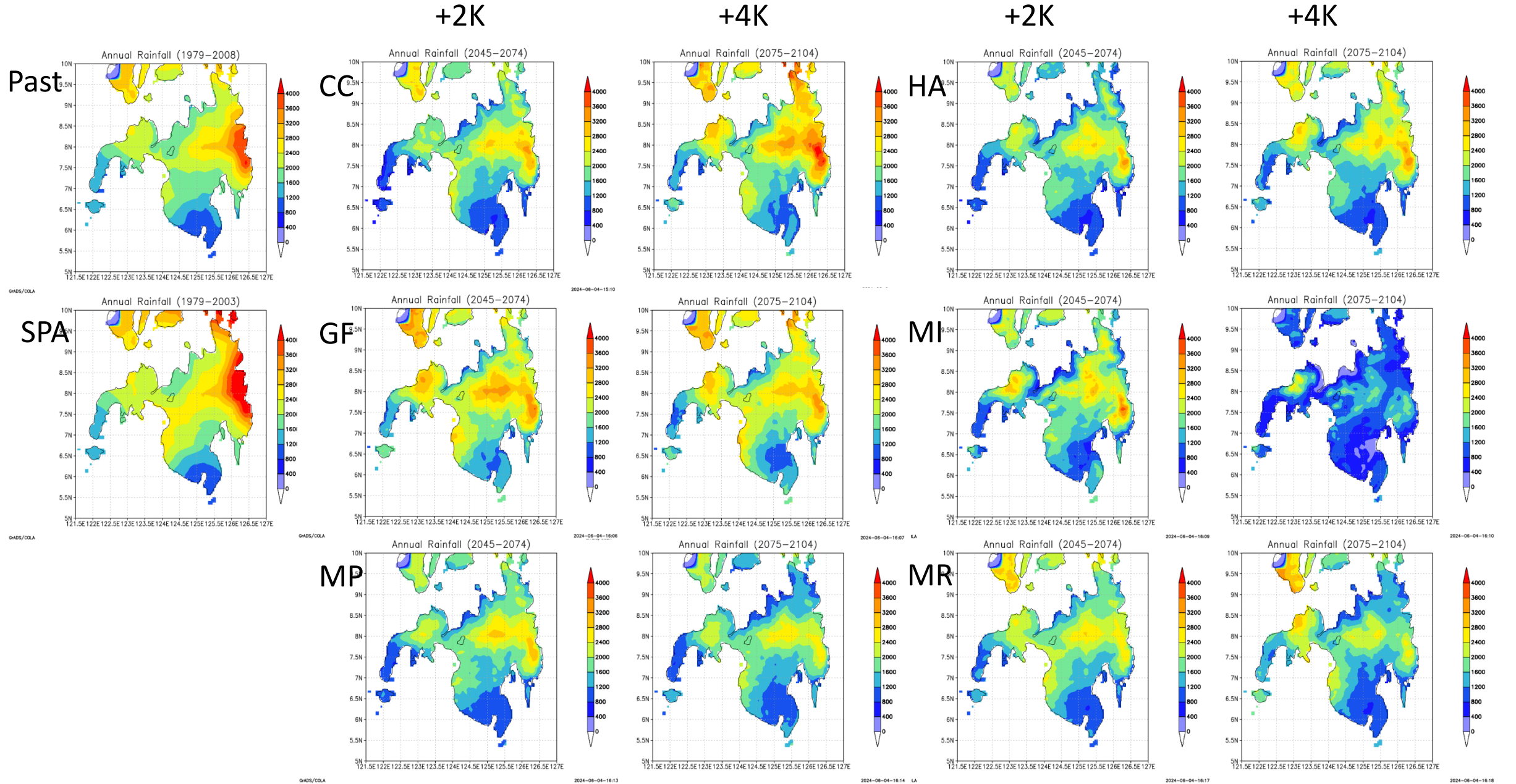
Solo River Basin (4days)



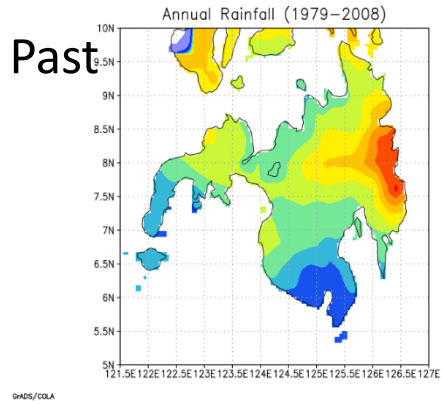
ダバオ市(ミンダナオ島)

- フィリピン第3の都市、重要な経済都市
- 台風があまり来ない
- ダバオ川流域は小さい

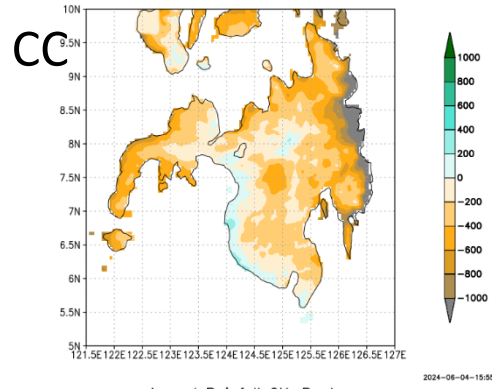




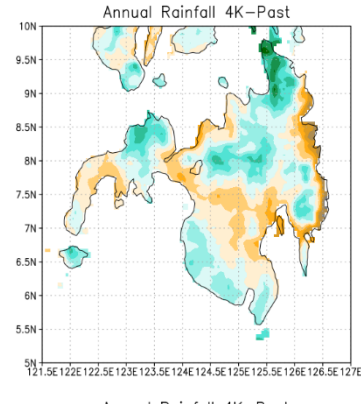
Past



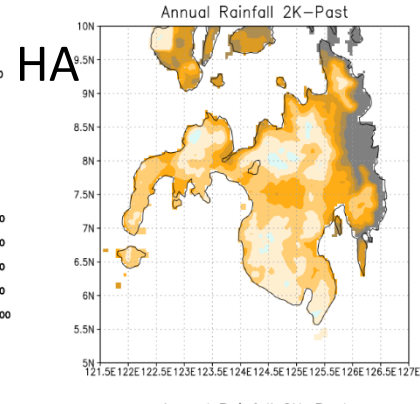
CC



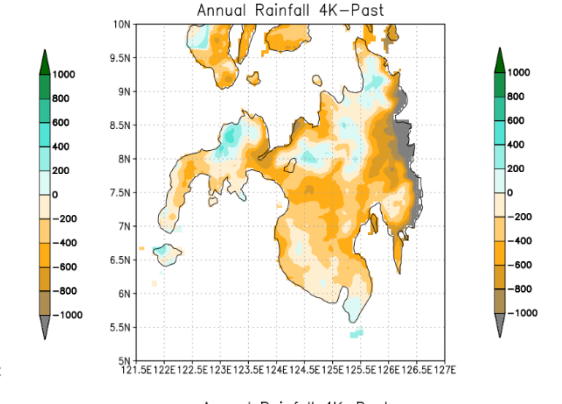
+4K



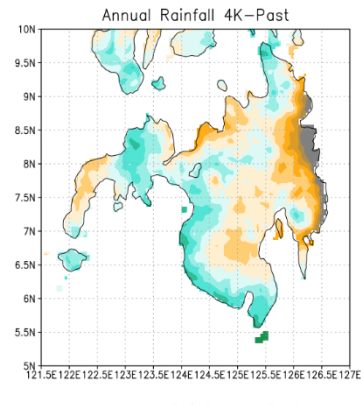
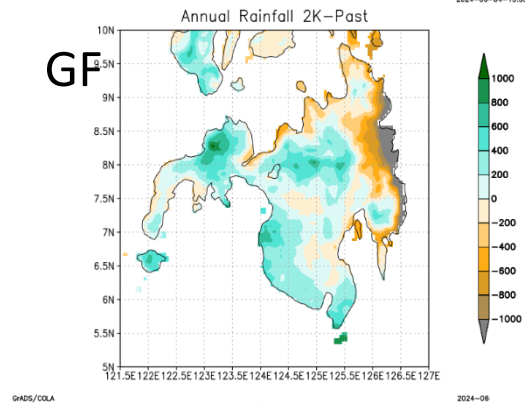
+2K



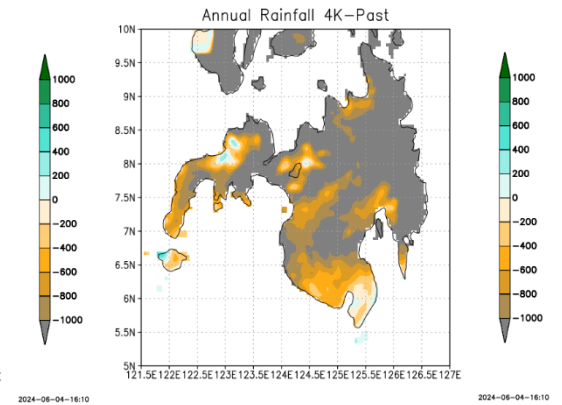
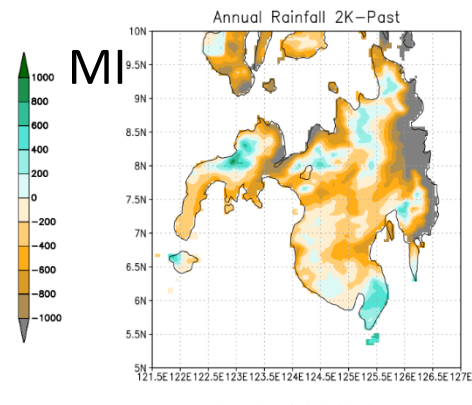
+4K



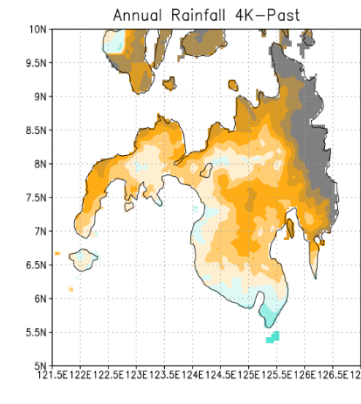
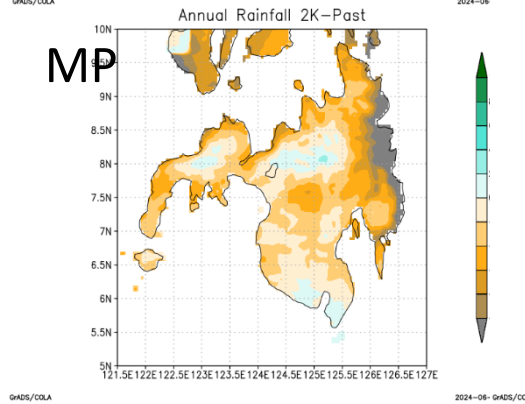
GF



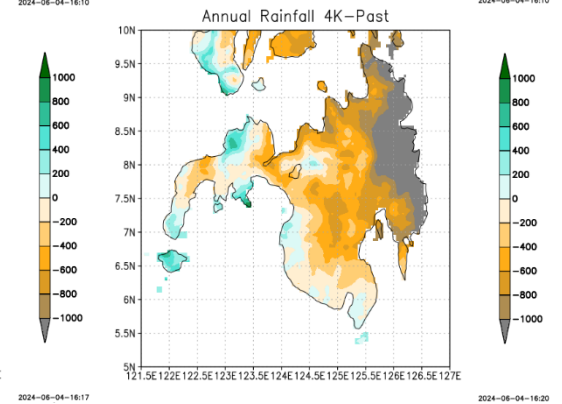
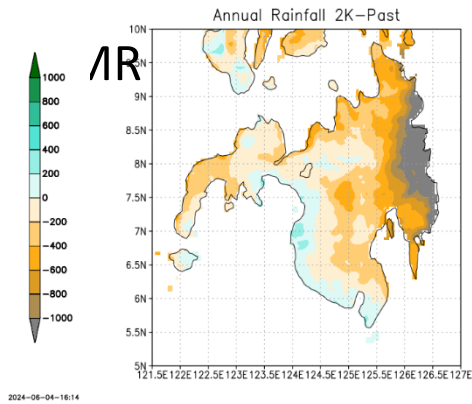
MI



MP



AR



+2K

+4K

+2K

+4K

Past

CC

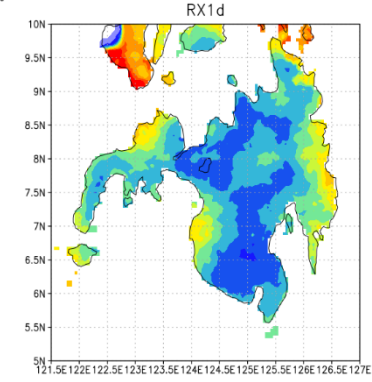
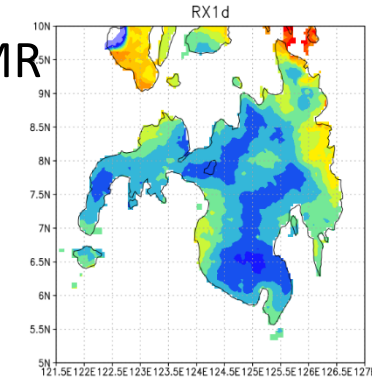
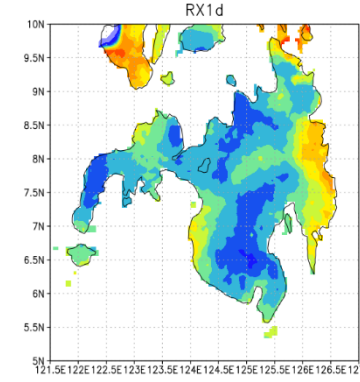
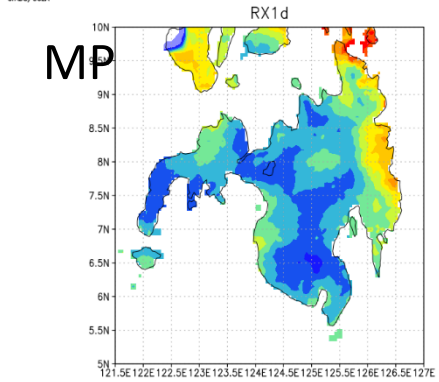
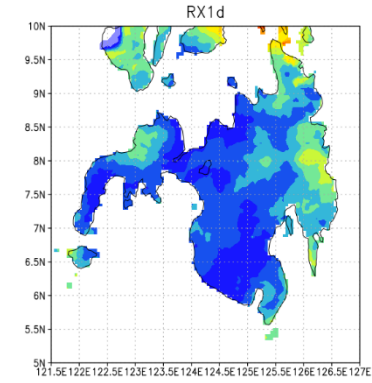
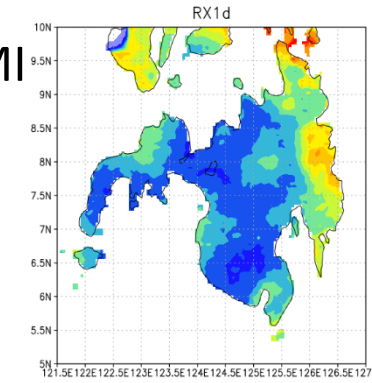
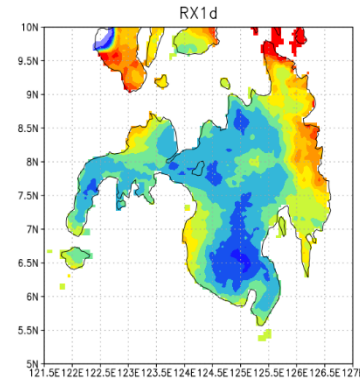
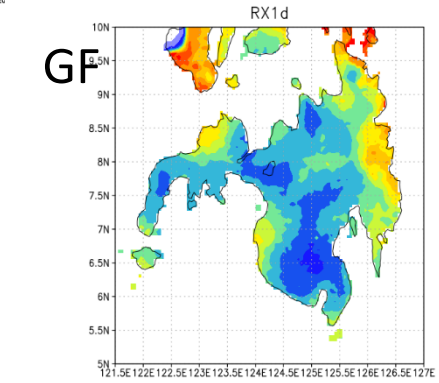
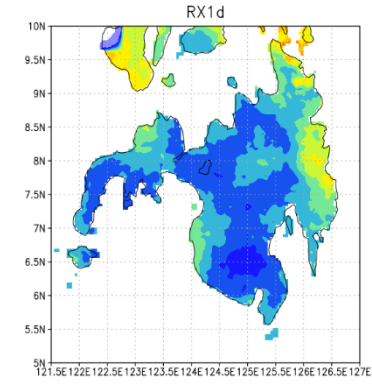
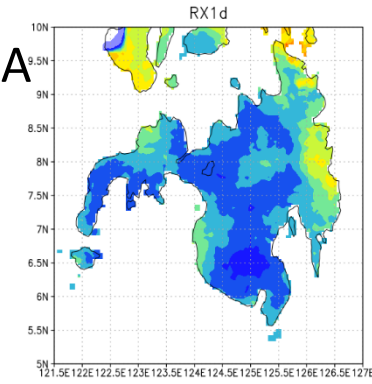
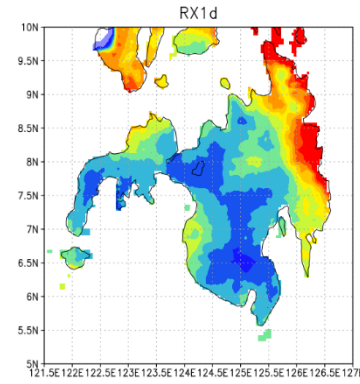
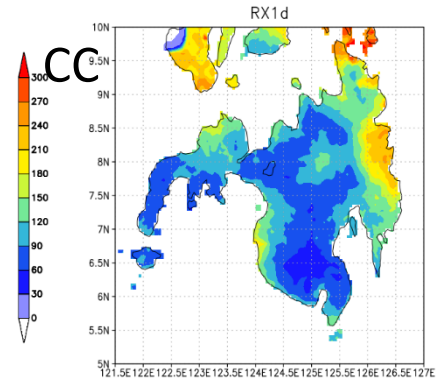
HA

GF

MI

MP

MR



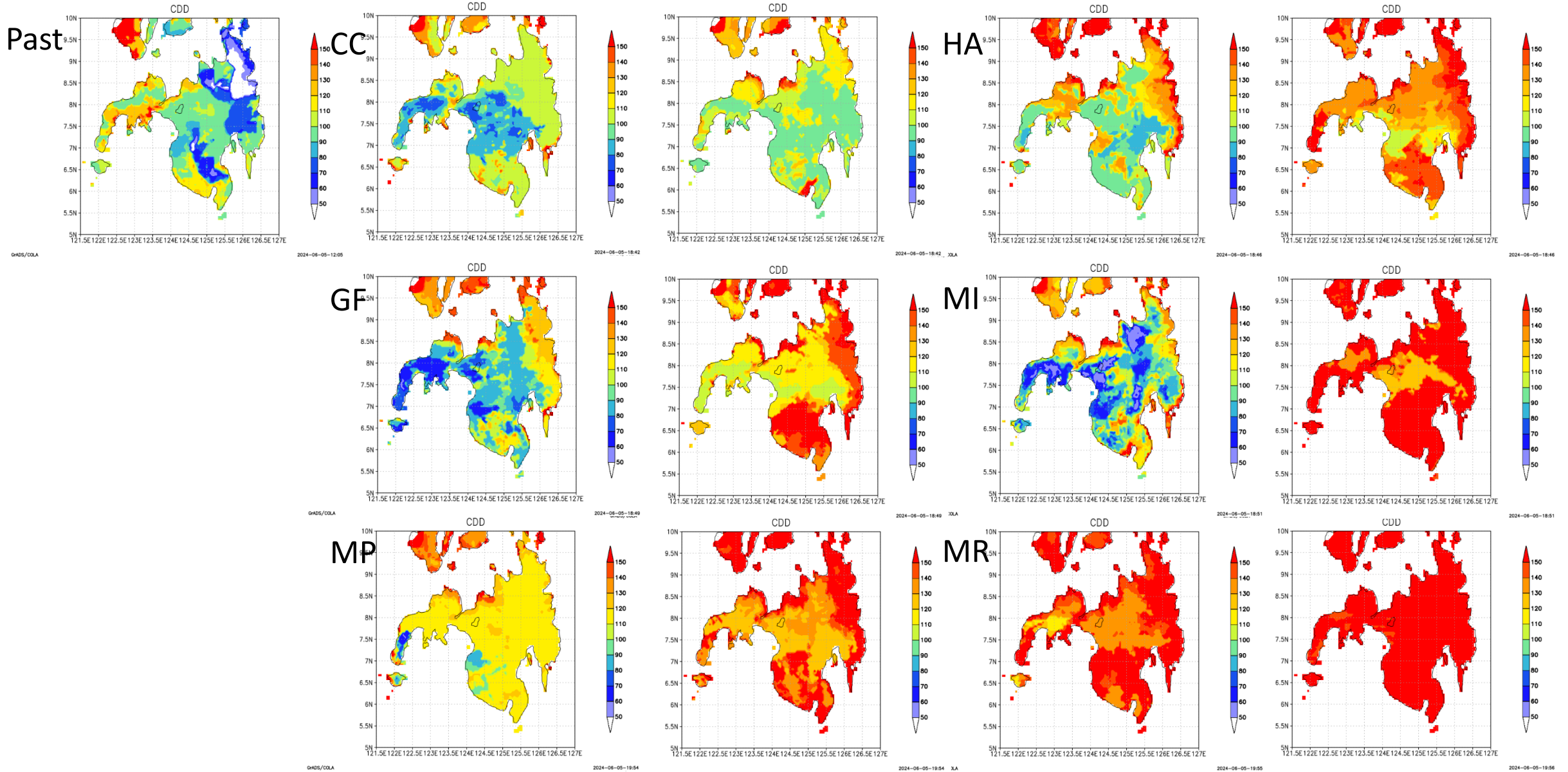
Past

+2K

+4K

+2K

+4K



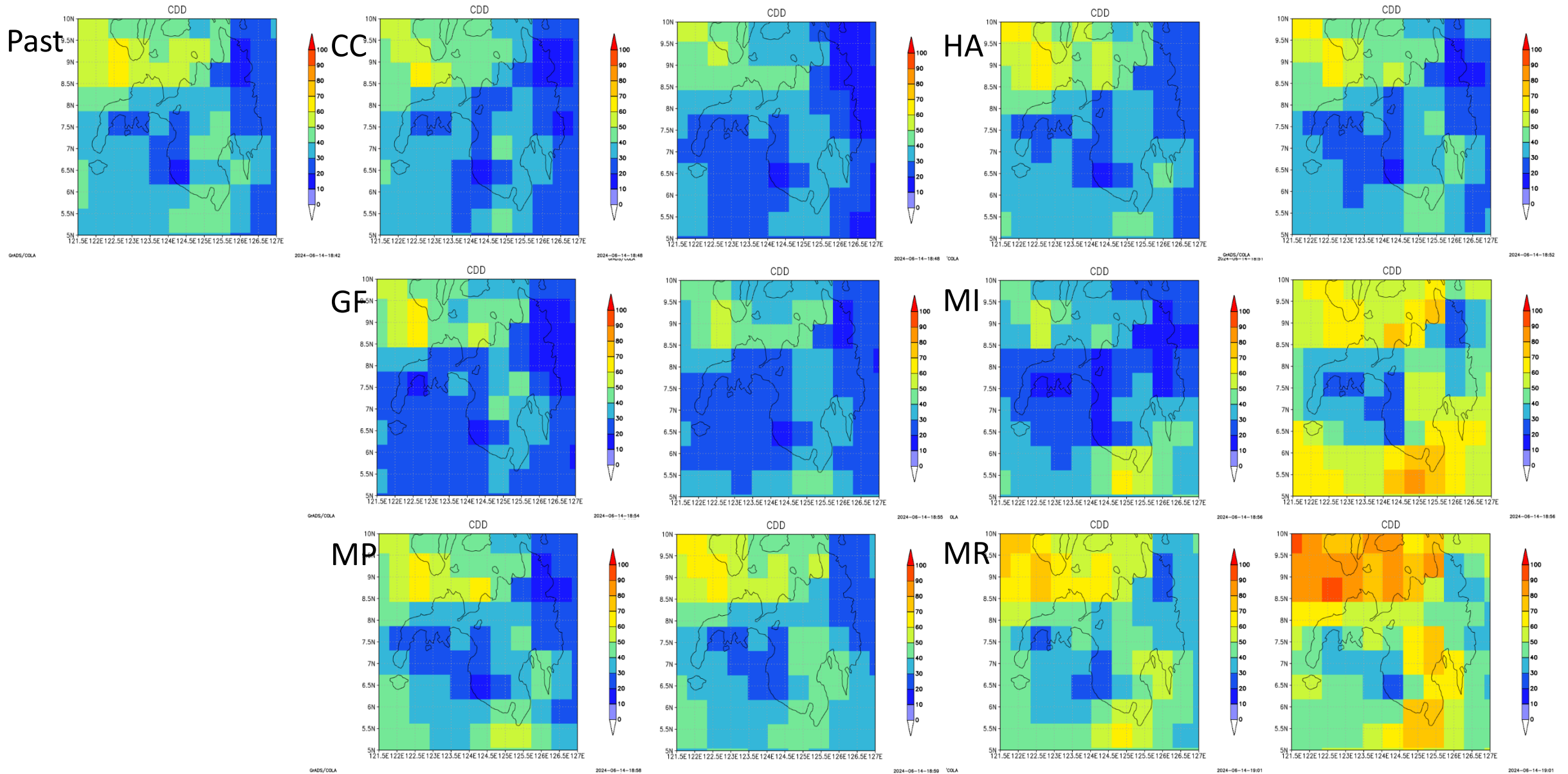
+2K

+4K

+2K

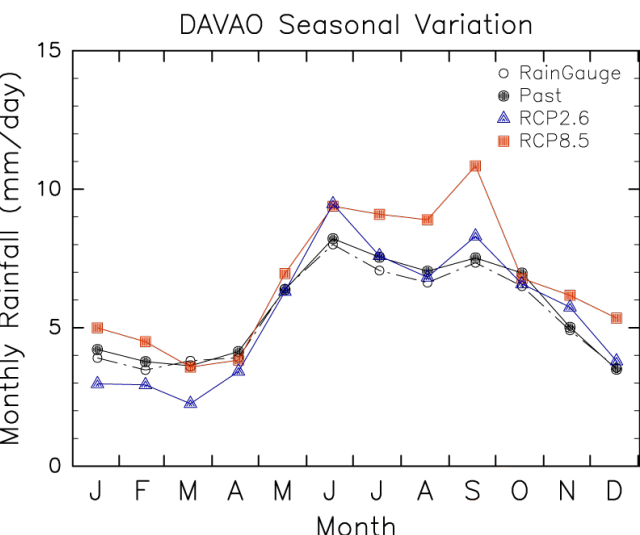
+4K

Past

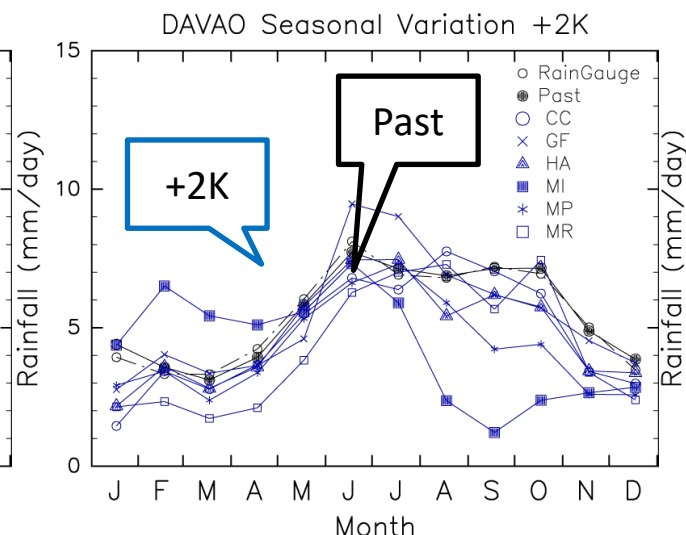


Summary for d4PDF downscaling

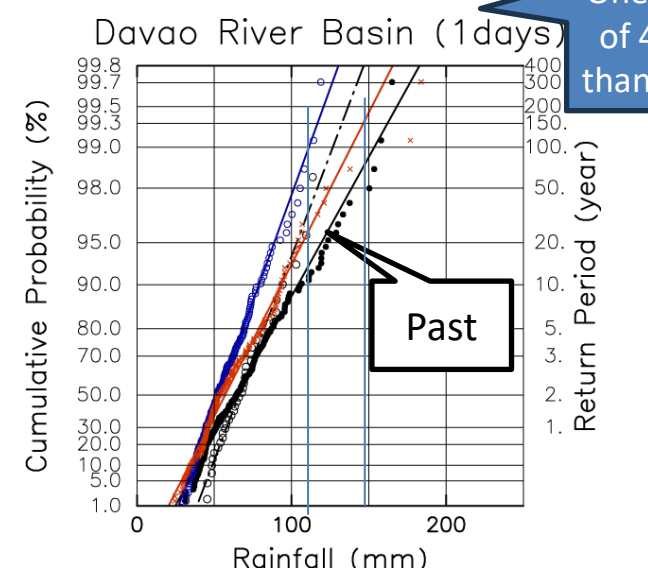
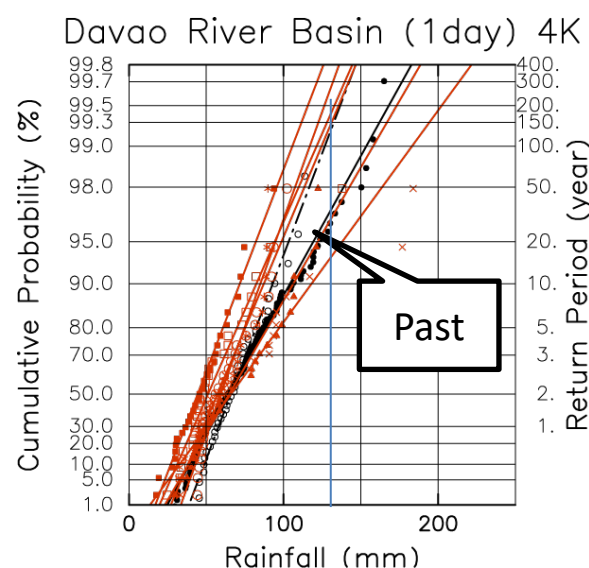
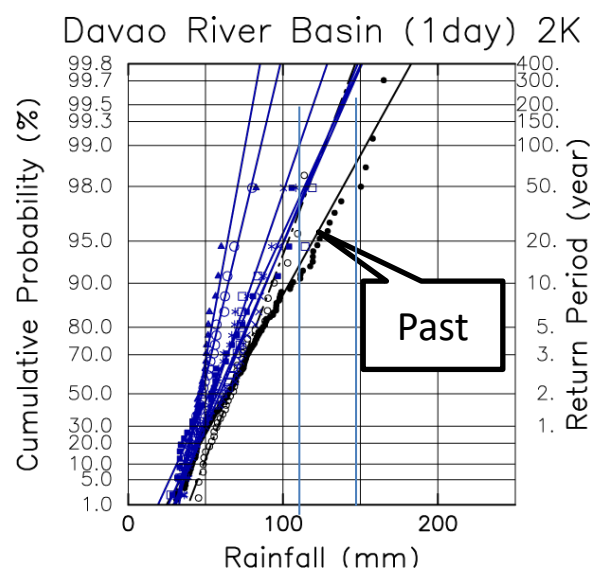
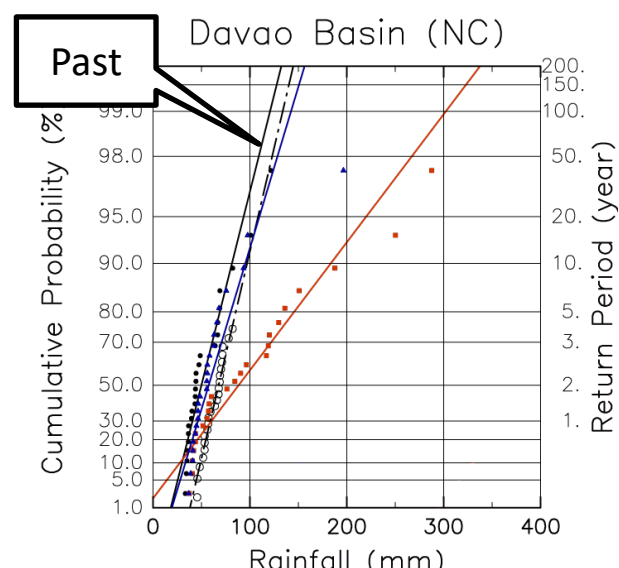
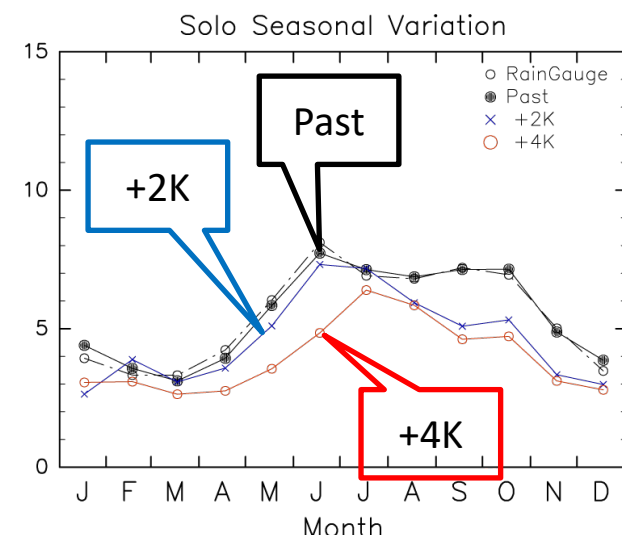
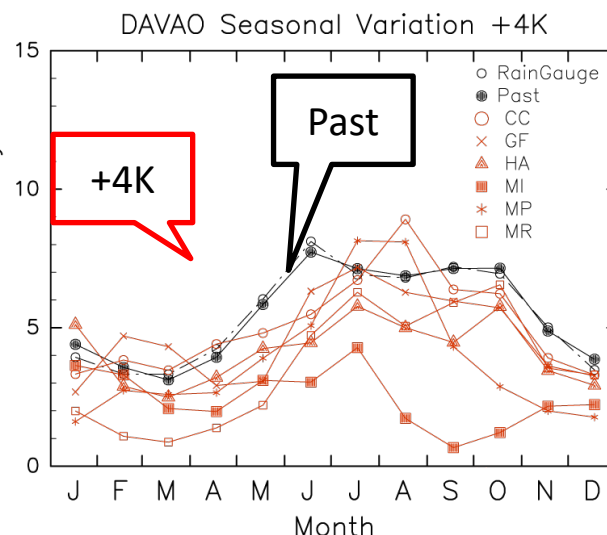
MRI-AGCM3.2H



d2PDF CC,GF,HA,MI,MP,MR

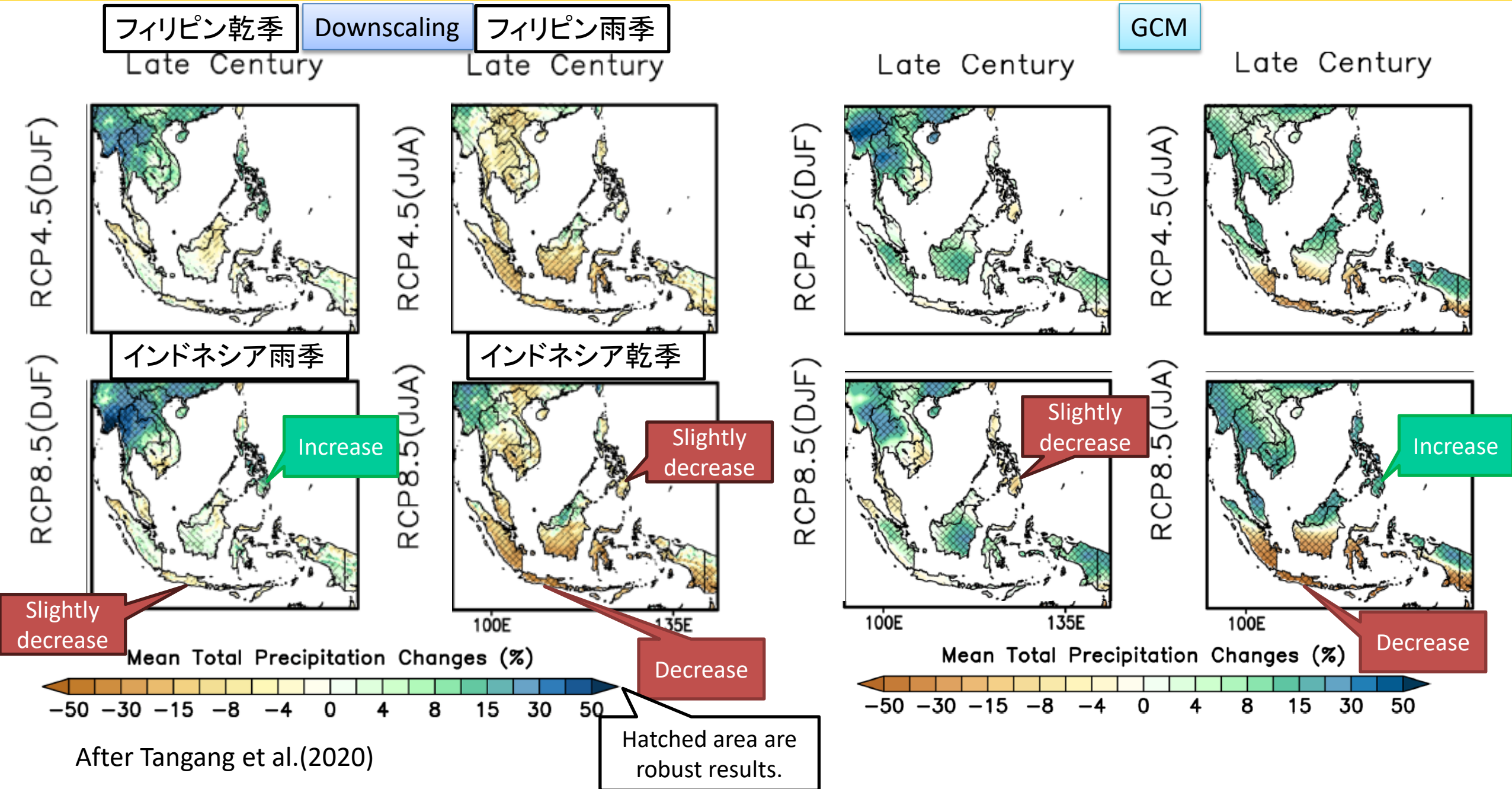


d4PDF CC,GF,HA,MI,MP,MR



One of 4 than

CORDEX-SEA results



- インドネシア・ソロ川流域：
 - MRI-AGCM3.2H: 雨季雨量が将来増加
 - d4PDF: 2K、4Kともに雨季雨量増加(増加幅は小さい)、乾季は減少
 - CORDEX: 雨季やや減少、乾季は減少
 - CORDEX GCM: 乾季は減少
 - 増加幅に違いはあるものの、MRI-AGCM3.2 DSとd4PDF DSは一致。CORDEXよりも高解像度ダウンスケーリングを行った結果、増加傾向が現れたと考えている。
- フィリピン・ダバオ川流域：
 - MRI-AGCM3.2H : 将来雨季雨量が増加
 - d4PDF DS: 雨季が減少
 - CORDEX: 雨季が減少、乾季は増加
 - CORDEX GCM: 雨季は増加、乾季は減少
 - MRI-AGCM3.2Hはd4PDFやCORDEXと異なる。これはMRI-AGCM3.2Hが、何らかの原因で過大評価したものと考えられる。
 - CORDEXはダウンスケーリング後とGCMで逆センス。増加傾向が解像度によって変動し、不安定。

本研究の遂行にあたっては文部科学省気候変動予測先端研究プログラム領域課題4「ハザード統合予測モデルの開発」(JPMXD0722678534)の助成を受けました。

創生及び統合プログラムのもとで作成された「地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース(d4PDF)」を使用しました。

ダウンスケーリング計算は地球シミュレータで行いました。

ご清聴ありがとうございました。

ushiyama@icharm.org